

三郷町教育委員会
教育に関する事務の点検及び評価報告書
(平成30年度実施分)

令和元年9月
三郷町教育委員会

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項の規定に基づき、平成30年度実施分の教育に関する事務の点検及び評価を行いましたので、その結果をまとめ、報告いたします。

令和元年9月3日

三郷町教育委員会

教育長 大西 孝浩

教育長職務代理者 鶴丸 浩

委員 芝崎 善彦

委員 窪内 真一

委員 下方 恵理

目 次

I	点検・評価の概要	1
II	町教育委員会の活動状況	2
III	施策及び事業の点検・評価	5
	1. 三郷町教育大綱との対応関係	6
	2. 平成30年度主要事業と主な内容	7
	3. 点検・評価項目	
	①学校施設の整備	8
	②教職員研修の充実	10
	③就園・就学の支援	12
	④特別支援教育の推進	14
	⑤情報・国際教育の推進	16
	⑥いじめ・不登校の対策	18
	⑦地域の教育力の向上	20
	⑧安全・安心の学校づくり	22
	⑨学校給食体制の整備	24
	⑩幼児教育の充実	26
	⑪生涯学習の推進	28
	⑫青少年の健全育成	30
	⑬人権教育・啓発の推進	32
	⑭文化センターの充実	34
	⑮文化活動への支援	36
	⑯図書館の充実	38
	⑰文化財の保護と活用	40
	⑱生涯スポーツの推進	42
	⑳スポーツ施設の整備	44
IV	学識経験者の知見の活用	46

I 点検・評価の概要

1. 点検・評価の目的

町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況を点検及び評価を行うことで、これまで取り組んできた施策の課題等を明らかにし、効果的な教育行政の推進を図るとともに、その結果を公表することにより開かれた教育行政を推進することを目的としています。

2. 点検・評価の対象

点検及び評価は平成30年度の実績に基づき、「町教育委員会の活動状況」及び「町教育委員会が実施する施策及び事業」を対象としています。

3. 点検・評価の実施方法

- ①町教育委員会の活動状況については、平成30年度の教育委員会議の開催状況や審議事項等を総括し点検しました。
- ②町教育委員会が実施する施策及び事業については、「三郷町教育大綱」の基本目標となる「子育てなら三郷町」「教育なら三郷町」「住み続けるなら三郷町」の3つの柱のもとに設定した20の項目に沿って19の点検評価項目を定め、事務、事業ごとの平成30年度実績を検証し、「事業評価シート」にまとめました。
- ③点検及び評価に当たっては、客観性を確保するため、教育に関する学識経験者から指導・助言を受け、報告書をまとめました。

【点検評価有識者】

氏名	所属・役職
かなやま のりまさ 金山 憲正	奈良学園大学 副学長 (人間教育学部 教授)

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」～抜粋～

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 町教育委員会の活動状況

1. 教育委員

役職名	氏名	備考
教育長	池田朝博	平成31年3月31日退任
	大西孝浩	平成31年4月1日就任
教育長職務代理者	鶴丸浩	
委員	芝崎善彦	
委員	窪内真一	
委員	澤美穂	平成30年9月30日退任
	下方恵理	平成30年10月1日就任

2. 教育委員会議の開催状況

- ①定例会・・・12回
- ②臨時会・・・1回

3. 教育委員会議の審議状況

- ①審議事項・・・35件
- ②報告事項・・・12件（各課別報告除く。）

※次頁以降に、平成30年度の教育委員会の開催状況及び審議状況を記載しています。審議事項については「議案」として、その他の報告事項については「報告」に分類し、記載しています。

4. 教育委員の活動状況

- ①学校(園)計画訪問実施(年1回)
幼稚園1園、小学校2校、中学校1校
- ②小中学校教諭との意見交換会(年1回)
小学校2校・中学校1校
- ③各小中学校・幼稚園PTA役員との意見交換会(年1回)
- ④学校行事への参加
入学(園)式、卒業(園)式、運動会、体育祭、文化祭等
- ⑤各種会議、行事、研修会等への参加
子どもの安全対策連絡会議、学校支援地域本部事業実行委員会、人権教育、青少年育成各種会議、不登校対策連絡会、各種研修・研究大会、成人式等

平成30年度 教育委員会議の開催状況について

会 議	平成30年 第4回定例教育委員会	開会日	平成30年4月16日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年三郷町成人式の開催について ・三郷町教育委員会事務局組織に関する規則の一部改正の専決処分について ・三郷町教育委員会文書管理規程の一部改正の専決処分について ・三郷町立学校の管理運営に関する規則の一部改正の専決処分について ・三郷町立幼稚園規則の一部改正の専決処分について ・三郷町立学校給食センター運営委員会規則の一部改正の専決処分について ・三郷町学校給食集団食中毒緊急対策本部設置要綱の一部改正の専決処分について ・三郷町不登校対策連絡会設置要綱の一部改正の専決処分について ・三郷中学校建替検討委員会設置要綱の一部改正の専決処分について ・三郷町放課後児童クラブ条例施行規則の一部改正の専決処分について ・三郷町要保護児童対策地域協議会設置要綱の一部改正の専決処分について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務局職員の人事異動について ・教職員の人事異動について ・生駒郡教育長会について ・生駒郡地教委連絡協議会について ・各課別報告 		
会 議	平成30年 第5回定例教育委員会	開会日	平成30年5月15日(火)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の制定の専決処分について ・三郷町教育委員会の権限に属する事務の一部委任及び臨時代理に関する規則の一部改正の専決処分について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・各課別報告 		
会 議	平成30年 第6回定例教育委員会	開会日	平成30年6月18日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・財産の取得の専決処分について (中学校施設備品(家具類)) ・財産の取得の専決処分について (電子黒板等備品 (三郷町立小学校)) ・財産の取得の専決処分について (タブレットPC等 (三郷町立小学校)) 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員報告について ・給食費の滞納状況について ・各課別報告 		
会 議	平成30年 第7回定例教育委員会	開会日	平成30年7月23日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町文化センター条例施行規則の一部改正について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・各課別報告 		
会 議	平成30年 第8回定例教育委員会	開会日	平成30年8月20日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度使用中学校道徳教科書の採択について ・教育に関する事務の点検及び評価報告書(平成29年度実施分)について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人三郷町文化振興財団の経営状況について ・各課別報告 		

会 議	平成30年 第9回定例教育委員会	開会日	平成30年9月25日(火)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町心身障害児就学指導委員会委員の委嘱及び任命について ・三郷町ブロック塀等の撤去工事補助金交付要綱の制定について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年第3回(9月)三郷町議会定例会について ・平成29年度図書館の利用状況について ・各課別報告 		
会 議	平成30年 第10回定例教育委員会	開会日	平成30年10月15日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町心身障害児就学指導委員会への諮問について ・三郷町学校支援地域本部事業実行委員会委員の委嘱について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度 就学指導にかかる事前観察訪問について ・平成30年度町立学校(園) 計画訪問の日程について ・三郷町学校支援地域本部事業実行委員会設置要綱について ・各課別報告 		
会 議	平成30年 第11回定例教育委員会	開会日	平成30年11月19日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町文化センター条例施行規則の一部を改正する規則について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・各課別報告 		
会 議	平成30年 第12回定例教育委員会	開会日	平成30年12月17日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町心身障害児就学指導委員会の答申について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・各課別報告 		
会 議	平成31年 第1回定例教育委員会	開会日	平成31年1月21日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度卒業(園)式及び平成31年度入学(園)式について ・三郷小学校、中学校及び幼稚園の設置に関する条例の一部改正について ・三郷町心身障害児就学指導委員会への諮問について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・各課別報告 		
会 議	平成31年 第2回定例教育委員会	開会日	平成31年2月18日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町立学校の体育施設開放に関する条例の一部改正について ・三郷町立学校の体育施設開放に関する条例施行規則の一部改正について ・三郷町心身障害児就学指導委員会の答申について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・各課別報告 		
会 議	平成31年 第1回臨時教育委員会	開会日	平成31年2月28日(木)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長の辞職の同意について 		
会 議	平成31年 第3回定例教育委員会	開会日	平成31年3月18日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員の委嘱について ・三郷町心身障害児就学指導に係る専決処分について ・平成31年度町立学校(園)の教育課程について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・各課別報告 		

Ⅲ 施策及び事業の点検・評価

1. 点検・評価の項目

点検及び評価に当たっては、より効率的で実効性のあるものにするため、「三郷町教育大綱」の施策体系に沿って、次頁の表のとおり19の「点検・評価項目」を設定しています。

点検及び評価の方法については、各事業の課題とその改善方法及び結果について、PDCAサイクル(※)に従い、詳細に記載するとともに、成果指標と決算額を示し、成果とコストを明確にするようにしています。

また、国や県の補助事業については、その内容や額等を明記しています。

2. 点検・評価結果の内容

各項目は、「1. 基本事項」「2. 事業概要・目的」「3. 事業実績・結果」「4. 点検評価・課題」「5. 改善方法・結果」「6. 今後の計画・方向性」に分類しています。

【基本事項】

→施策の名称、担当課、教育大綱との相関性及びその施策が目指す基本的な方向性を記載しています。

【事業概要・目的】

→各施策に基づいて教育委員会が実施した事業の概要とその目的を記載しています。

【事業実績・結果】

→実施した事業の実績及び結果を記載しています。数値については、平成30年度実績です。（「◎」については、補助事業を示します。）

【点検評価・課題】

→事業実績及び結果に基づき、事業の達成度、成果及び課題を記載しています。成果については、成果指標と決算額を数値で示しています。また、課題については、継続的な課題とともに、平成30年度における新たな課題に分類して記載しています。

【改善方法・結果】

→継続的な課題に対する改善方法及び結果並びに新たな課題に対する改善方法などについて記載しています。

【今後の計画・方向性】

→事業の今後の方向性と計画について記載しています。

※PDCAサイクル

計画(PLAN)→実行(DO)→点検(CHECK)→見直し(ACTION)の流れを次の計画に活かすことで、継続的な改善を図るプロセス。

【三郷町教育大綱との対応関係】

<教育大綱 基本目標>

I 「子育てなら三郷町」

若い人が住んでよかったと思えるまちを目指して、安心して子どもを産み、育てられるまちづくりのため、保健事業や食育の推進、仕事と子育ての両立を支援する保育サービスなど子育て支援の充実を図ります。

II 「教育なら三郷町」

まち全体で子どもたちの成長を応援するため、学校と地域の連携を深めながら、地域における学習や世代間交流の場づくり、自然や歴史など周辺環境を活かした学校づくりを目指します。

III 「住み続けるなら三郷町」

生涯成長する「学び」の姿勢と心豊かなふれあいを通じて、子どもからお年寄りまですべての人が、いきいきと生きがいをもって暮らすことのできる活力ある地域づくりを進めます。

基本目標	基本施策	点検・評価項目頁
I 「子育てなら三郷町」	・幼児教育の充実	P26
	・就園・就学の支援	P12
II 「教育なら三郷町」	・学校施設の整備	P 8
	・教職員研修の充実	P10
	・特別支援教育の推進	P14
	・情報・国際教育の推進	P16
	・いじめ・不登校の対策	P18
	・安全・安心の学校づくり	P22
	・地域の教育力の向上	P20
	・学校給食体制の整備	P24
III 「住み続けるなら三郷町」	・学校ICT教育の推進	P16
	・生涯学習の推進	P28
	・青少年の健全育成	P30
	・人権教育・啓発の推進	P32
	・文化センターの充実	P34
	・文化活動への支援	P36
	・図書館の充実	P38
	・文化財の保護と活用	P40
	・生涯スポーツの推進	P42
・スポーツ施設の整備	P44	

平成30年度主要事業と主な内容

点検・評価項目	主要事業及び内容
①学校施設の整備	・学校、幼稚園の改修・整備工事
	①三郷中学校建替工事等
	②三郷小学校トイレ改修工事等
	③三郷北小学校プール防水改修工事等
	④町立小・中学校無線LAN等配線工事
②教職員研修の充実	・小・中学校、幼稚園の教職員研修、県実施研修への参加
③就園・就学の支援	・小・中学校就学援助、幼稚園就園奨励、育英振興助成金
④特別支援教育の推進	・特別支援教育の推進、教育相談、特別支援教育就学奨励
⑤情報・国際教育の推進	・校内LAN・教育用コンピュータの整備、ALT(外国語指導助手)の派遣
	①ICT教育機器整備(平成28年度～平成30年度)
	②町立小・中学校無線LAN教育ネットワーク整備
	③ICT支援員の配置
⑥いじめ・不登校の対策	・スクールカウンセラー活用、心の相談員、メンタルヘルス相談
⑦地域の教育力の向上	・子ども権学習支援事業、学校支援地域本部事業
⑧安全・安心の学校づくり	・子ども情報ネットさんごう、さんごう子ども見まもり隊、青色防犯パトロール
⑨学校給食体制の整備	・安全安心の学校給食、食育の推進
	①「教育ファーム実践事業」(地産地消)の推進
	②食物アレルギー対応の徹底
⑩幼児教育の充実	・地域に開かれた幼稚園、子育て支援
⑪生涯学習の推進	・学習基盤の整備、各種学級の運営
⑫青少年の健全育成	・青少年育成三郷町民会議、ふれあいのつどい、教育講演会、成人式
⑬人権教育・啓発の推進	・識字学級、人権教育地区別懇談会、人権問題学習セミナー、人権相談
⑭文化センターの充実	・公開講座・文化教室、グループ活動の支援
	・施設整備
	①地下排水ポンプ修繕・揚水ポンプ取替工事
	②地下排水ポンプ遠隔操作基盤設置工事
	③休憩室空調機取替工事
⑮文化活動への支援	・生涯学習の指導者等の活用支援、各種団体への助成
⑯図書館の充実	・情報資料の提供、子ども読書の推進、生涯学習事業の推進
⑰文化財の保護と活用	・文化財の保護、文化財の啓発・活用、地域の歴史学習の機会の提供
	①文化財や万葉歌の多言語翻訳対応解説板(QRコード対応)設置
⑱生涯スポーツの推進	・スポーツの推進、軽スポーツ事業
⑲スポーツ施設の整備	・スポーツ施設の整備、指定管理
	①竜田運動公園…施設修繕・整備等(7箇所)
	②勢野グラウンド…施設修繕・整備等(3箇所)
	③スポーツセンター…施設改修・修繕等(3箇所)
	④ウォーターパーク…施設改修・修繕等(2箇所)
	⑤中央公園多目的広場…施設修繕・整備等(3箇所)
	⑥指定管理(H30年度～H34年度)

平成30年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	①学校施設の整備	担当課名	教育総務課	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の耐震性を確保します。 ・誰もが利用しやすい環境とするため、施設の整備を行います。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設は、幼児・児童・生徒が1日の大半を過ごす学習・生活の場であり、「生きる力」を育むための教育環境として重要な意義を持つだけでなく、地震などの災害発生時に地域住民の緊急避難場所としての役割をも果たすことから、その安全性を確保する。 ・施設及び非構造部材の耐震化は一定終了ものの、学校施設の「長寿命化計画」の早期策定が求められている中、その老朽化が深刻である状況に鑑み、当該計画の早期策定を目指すとともに、優先順位をつけて再生整備（改修）を随時実施する。 ・三郷中学校校舎建替工事を年度内竣工に向けて実施する。 ・次世代を担う人材育成を目的に、文部科学省が推進する教育ICT化を本町においても推進するため、校内無線LANによる教育ネットワーク整備工事を実施する。 ・年々、児童生徒の熱中症が急増する中、国庫補助金を活用した空調設備設置工事の早期実施を検討する。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○各学校・園の施設整備状況（主な補修工事等、事業費200,000円以上）	
	【三郷小学校】	
	工事名称	事業費(円)
	雨漏り修繕	724,502
	給食リフト修繕	1,242,000
	遊具修繕（運動場）	457,920
	教室ドア取替改修工事	963,200
	トイレ改修工事	5,724,000
	ゴミ庫ブロック塀取替工事	1,181,520
	無線LAN等配線工事	5,666,011
合 計	15,959,153	
【三郷北小学校】		
工事名称	事業費(円)	
遊具修繕（運動場）	392,040	
西駐車場舗装改修工事	270,000	
分電盤修繕工事	207,360	
プール防水改修	7,980,120	
電話設備取替工事	631,422	
視聴覚室スクリーン取替工事	315,360	
無線LAN等配線工事	6,212,261	
合 計	16,008,563	
【三郷中学校】		
工事名称	事業費(円)	
◎三郷中学校建替工事	2,680,215,600	
無線LAN等配線工事	28,967,976	
合 計	2,709,183,576	
【南畑幼稚園】		
工事名称	事業費(円)	
「真砂土」入替工事	372,600	
遊具修繕	275,400	
合 計	648,000	

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各施設において、緊急かつ必要な改修・補修を随時実施したが、今後も経年に伴う改修・補修の更なる増加が見込まれ、学校施設の長寿命化計画の策定が急がれる。 三郷小学校において、教室レール式ドア取替えを中心に工事を実施し、三郷北小学校においてはプールの防水改修など、施設・設備の老朽化に対応するため各種補修工事を実施した。【成果指標①】 また、小学校のトイレについては、三郷小学校において使用頻度の高いトイレを中心に洋式化を行った。 三郷中学校建替事業において、平成29年度末時点の累計実施出来高は全工程の26%であったが、平成30年度末時点で全工程が完了し、新校舎が完成。【成果指標②】 小学校の無線LANによる教育ネットワーク構築事業については両校共夏期休業期間中に竣工し、中学校については建替工事の進捗に合わせて平成31年2月に竣工。 これにより、小中学校共に平成31年3月から本格稼働を実施した。
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H29年度	H30年度	決算額(円)
	①学校、園改修等(中学校建替除く)	補修・改修件数	件	57	59	H29 8,007,899 H30 32,615,716
②三郷中学校建替事業	工事出来高率	%	26	100	H29 879,995,280 H30 2,709,183,576	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①小学校校舎の経年による劣化等に対応するため、バリアフリー化も含めた改修及び補修の実施。 ②幼稚園・小学校における空調設備の早期設置。 ③三郷北小学校のプールサイドはシーリング打替え補修を平成27年度より3年連続で行っているものの、経年劣化が深刻なことから、今後も引き続き補修工事を要する可能性がある。 <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①三郷北小学校の校舎は昭和57年に竣工して以来、大規模改修等の補修をしておらず、校舎壁面のコンクリート等にも経年劣化が見受けられ、併せて教室の絶対数も充分でないことから、対応策を講じることが急務である。
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①両小学校において、経年に伴う改修・補修の更なる増加が見込まれることから、国や県補助金等を活用しつつ、優先箇所から整備を進める。 ②国庫補助金等を活用し、小学校における空調設備設計業務及び設置工事を可及的速やかに実施する。 なお、幼稚園については町単費で設置する。 ③H30年度予算においてプール槽及びプールサイドの防水改修工事を実施し、当面は使用に支障をきたさない状態となった。 <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①既存施設の長寿命化計画の策定を行うとともに、国や県補助金を活用した改修等を早急に検討する。
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も財政状況を勘案しつつ、緊急性・優先性を考慮した整備を進めるとともに、平成31年度実施予定の主な施設改修・補修として、三郷小学校においては給水ユニットの取替え、三郷北小学校においては視聴覚室の設備更新を検討し、トイレについても100%の洋式化を目指す。 平成31年度に国庫補助を活用して両小学校の空調設備設置工事を早急に行うと共に、設置工事が完了するまでの間は応急的な措置としてスポットクーラーを各教室に仮設置する。 令和2年度中に施設毎の中長期的な整備計画(長寿命化計画)を策定。 三郷北小学校校舎の老朽化に対応していくことはもちろんのこと、教室不足の解消をはじめ、障がいのある児童の受入にも対応できる施設整備を図るため、早急な改修等を検討。

平成30年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	②教職員研修の充実	担当課名	教育総務課 南畑幼稚園	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	・子どもたちが健やかに成長できるよう、また、きめ細やかな指導で学力の向上を図るよう、県など関係機関との連携協力により研修を実施し、教職員の資質向上に努めます。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>○小中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初任者の教諭に対し、1年間の研修を実施して実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得させる。県の研修に加え、生駒郡地教委主催で年2回研修を実施する。 ・発達障害等で特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に対する総合的な支援体制の充実を図るため、生駒市と生駒郡が合同で研修会を実施する。 ・ICT教育機器の整備に向け、ICTを活用した指導方法の研修会を実施する。 <p>○幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生駒郡幼児教育研究会及び奈良県幼児教育研究会において、幼児一人ひとりへのきめ細かな対応を学び、保育内容の充実を図るため、各種研修会に参加する。 ・幼稚園教員研修及び特別支援教育研修を随時行い、幼稚園教育と小学校教育との円滑なつながりを図り、幼小連携をより充実させるとともに、教員の資質向上を図る。 ・幼児期教育、小学校教育及び中学校教育との円滑なつながりを図り、幼保小中連携をより充実させるための研修会を行う。 <p>◎県実施研修への参加【県費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県が実施する各種教職員研修に積極的な参加を促す。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>○小中学校</p> <p>【初任者研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修対象者 3人 ①第1回生駒郡地教委主催初任者研修(参加者3人) <内容> フィールドワークや体験活動等を通して、平群町の歴史と文化について見識を深める。 初任2年目の先輩の実践発表と平群町教育長の「これからの教員に期待すること」を聞き、各自の今後の取組みの参考にした。 ②第2回生駒郡地教委主催初任者研修(参加者2人) <内容> 授業力を向上させるための工夫等について、自らの情報の発信と交流の重要性を体験的に学び、今後の授業実践に生かす。校種別に生徒指導上の課題事例をもとに討議し、解決するための手立てについて考える。 <p>【特別支援教育研修会】</p> <p>期日 平成30年8月29日(水) 場所 生駒市北コミュニティーセンター I STAはばたき 内容 講演会「特別支援教育の現状と課題」 講師 梅花女子大学 伊丹 昌一 氏 三郷町からの参加人数：17人</p> <p>○幼稚園</p> <p>【生駒郡幼児教育研究会・奈良県幼児教育研究会】</p> <p>内容 全体研修(講演)、各種部会研修(実践事例による研究協議)、特別支援教育部会(研修講義など)、公開保育</p> <p>回数 全体研修：郡2回、県2回 部会研修：(教育課程部会) 郡4回、県3回 (放送教育部会) 郡3回、県3回 (特別支援教育部会) 郡2回、県3回 公開保育：郡1回、県1回</p> <p>【幼稚園教員研修】</p> <p>①園内研修及び新任研修 内容 外部講師による保育内容の点検及び指導と特別支援教育に関する指導助言。 回数 年間10回</p> <p>②職員研修 内容 保育終了後、幼児への理解を深めるために職員研修を実施し、保育内容等や環境づくりについての検討や教員の役割についての共通理解に努めた。 回数 年間を通じておおよそ月2～3回</p> <p style="text-align: center;">※その他、随時公開保育を行い、初任者の指導内容の充実を図った。</p> <p>◎県実施研修への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修への参加 参加人数：3人 ・教職経験に応じたステージ別研修及び職務や今日的課題等に対応した研修への参加 参加人数：33人(幼稚園7人、三小6人、北小8人、三中12人)
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生駒郡地教委主催の初任者研修は、授業展開や教材・教具の工夫・ICT機器の利用、学級経営の仕方、児童・生徒との接し方、保護者対応等の実践的なもので、日常の教育活動に活かされている。また、各自の経験・実践の情報を発信し交流することで、自己の取組みをふり返る重要な機会を得た。【成果指標①】 ・特別支援教育研修会では、各校の特別支援教育コーディネーターを中心に、特別支援担当が積極的に参加し、コーディネーターの責務や子どもの感情を理解し、子どもとの関わり方を学んだ。【成果指標②】 ・ステージ別研修には、33人が受講し、講座数は延べ52講座であった。【成果指標④】 ・ICT教育研修については、機器のデモンストレーション及び指導方法の研修会を行い、ほぼ全教職員が参加。電子黒板や書画カメラの使い方を学んだ。【成果指標⑤】 <p>○幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生駒郡幼児教育研究会・奈良県幼児教育研究会では、各市町村の情報交換及び実践交流の場となり、研究協議の中から取組みの反省と評価ができた。【成果指標③】 ・幼稚園教員、特別支援教育研修では、講師の講評の中から保育内容について改善するポイントを見出すことができた。また、特別支援を必要とする幼児の対応について、療育との連携により、職員間で学び合い共通理解を深めることができた。 <p>○教員研修における人権教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員自身の人権感覚・意識を高めるとともに、子どもたち一人ひとりを大切にする教育活動に役立てた。また、その他関係機関・団体の各種研修会にも参加した。
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H29年度	H30年度	決算額(円)
	①初任者研修		研修回数(町実施)	回	2	2
②特別支援教育研修会・第3ブロック研修会		参加人数	人	22	21	H29 H30
③生駒郡幼稚園教育研究会・奈良県幼稚園教育研究協議会		研修回数	回	24	24	H29 H30
④ステージ別研修		参加人数	人	34	33	H29 H30
⑤ICT教育研修		研修回数	回	3	3	H29 H30

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①幼保小中連携については、それぞれの校種の違いによる教育内容や指導方法等、子どもたちが学校生活の変化に対応できるよう、各校種相互の現状理解と適切な指導が教員に求められる。 ②小学校における英語の教科化。 ③小学校における道徳の教科化。 <p>【新たな課題】</p>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①幼保小中連携については、幼稚園・保育園における教育、小学校教育及び中学校教育との円滑なつながりを図るため、教員相互の情報共有及び意思疎通が重要である。また、研究授業等、校種を越えた研修などを通じて、各教育段階における教育目標を相互に理解し、子どもたちの成長を支援するとともに、それぞれの教育現場における違いや環境のギャップによる子どもたちの戸惑いを軽減させるためのサポートができる体制の構築のための教員のスキルアップを図る。また、併せて「中1ギャップ」などの諸課題の解消を図ることを目的として「小・中一貫教育」の導入を検討し、教職員におけるスキルアップや共通認識をもつための研修が必要となる。 ②平成31年度の小学校における英語教科化に向け、具体的な授業展開方法の教示も含めた研修会等の受講をはじめ、英語専科の教師の配置を検討する。 ②平成30年度の「特別な教科 道徳」の開始に伴い、児童生徒に対する適切な評価方法の確立に向け、共通した認識等を教員間で持つため、研修会等の開催。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p>
	<input type="checkbox"/> 見直し	
<p>・今後も教育に求められるニーズや変革について、その多岐にわたる内容を把握し、「小中一貫教育」導入に際し、そのツールとしてICTも十分に活用できるように、マルチに対応が可能な教職員の育成及びその資質向上を図る。</p> <p>・「小中一貫教育」の導入を検討するに当たり、その必要性、意義及び諸課題の洗い出しを行い、各校の現況及び今後のあり方を検討するため、小・中各校の教員間において協議及び研修を実施する。</p>		

平成30年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	③就園・就学の支援	担当課名	教育総務課 こども未来課	教育大綱位置づけ	I「子育てなら三郷町」
基本方向	・経済的理由により、教育の機会均等が損なわれることがないよう、各種補助事業を実施し、保護者の経済的負担の軽減を図ります。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>◎小中学校就学援助【国庫補助事業】</p> <p>・経済的な理由等によって、子どもたちの就学が妨げられることのないよう、学用品費や学校給食費などを援助する。</p> <p>◎幼稚園就園奨励費補助金【国庫補助事業】</p> <p>・保護者負担の軽減及び公立・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図るとともに、幼稚園教育の普及充実を図るため、私立幼稚園への就園奨励費補助金を交付する。</p> <p>◎育英振興助成金</p> <p>・町内在住の中学校卒業生で、経済的な理由で高等学校等への進学が困難な生徒に対し、新入学に際して要した経費の一部を助成する。</p>
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>◎小中学校就学援助【国庫補助】</p> <p>【要保護児童生徒就学援助費】</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>認定者(人)</th> <th>就学援助費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>三郷小学校</td><td>17</td><td>0</td></tr> <tr><td>三郷北小学校</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>三郷中学校</td><td>10</td><td>311,731</td></tr> <tr><td>合計</td><td>28</td><td>311,731</td></tr> </tbody> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th colspan="2">【国庫補助金】</th> </tr> <tr> <th>補助金額(円)</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>155,000</td><td>※修学旅行費のみ</td></tr> <tr><td>155,000</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>【準要保護児童生徒就学援助費】</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>認定者(人)</th> <th>就学援助費(円)</th> <th>給食費(円)</th> <th>援助費合計(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>三郷小学校</td><td>56</td><td>2,433,915</td><td>2,324,810</td><td>4,758,725</td></tr> <tr><td>三郷北小学校</td><td>27</td><td>1,070,600</td><td>1,149,080</td><td>2,219,680</td></tr> <tr><td>三郷中学校</td><td>58</td><td>3,452,976</td><td>2,662,800</td><td>6,115,776</td></tr> <tr><td>合計</td><td>141</td><td>6,957,491</td><td>6,136,690</td><td>13,094,181</td></tr> </tbody> </table> <p>◎幼稚園就園奨励【国庫補助】</p> <p>・町内に在住し、私立幼稚園に就園する満3歳児及び3歳児から5歳児の保護者を対象に、所得に応じて補助金を交付。</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr> <th>園児区分※</th> <th>受給者(人)</th> <th>就園奨励費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>満3歳児</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>3歳児</td><td>43</td><td>5,610,800</td></tr> <tr><td>4歳児</td><td>69</td><td>8,708,900</td></tr> <tr><td>5歳児</td><td>55</td><td>6,182,100</td></tr> <tr><td>合計</td><td>167</td><td>20,501,800</td></tr> </tbody> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th colspan="2">【補助金額(円)】</th> </tr> <tr> <th>補助金額(円)</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>6,833,000</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>※ 満3歳児：H27.4.2～H28.4.1生まれ 3歳児：H26.4.2～H27.4.1生まれ 4歳児：H25.4.2～H26.4.1生まれ 5歳児：H24.4.2～H25.4.1生まれ</p> <p>◎育英振興助成金</p> <p>新入学に際して保護者等が負担した経費（授業料を除く。）のうち、学校区分に応じて、公立は3万円、私立は5万円を上限として助成金を支給。</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th>学校区分</th> <th>認定者(人)</th> <th>助成額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>公立</td><td>20</td><td>591,108</td></tr> <tr><td>私立</td><td>4</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>合計</td><td>24</td><td>791,108</td></tr> </tbody> </table>	学校名	認定者(人)	就学援助費(円)	三郷小学校	17	0	三郷北小学校	1	0	三郷中学校	10	311,731	合計	28	311,731	【国庫補助金】		補助金額(円)		0		0		155,000	※修学旅行費のみ	155,000		学校名	認定者(人)	就学援助費(円)	給食費(円)	援助費合計(円)	三郷小学校	56	2,433,915	2,324,810	4,758,725	三郷北小学校	27	1,070,600	1,149,080	2,219,680	三郷中学校	58	3,452,976	2,662,800	6,115,776	合計	141	6,957,491	6,136,690	13,094,181	園児区分※	受給者(人)	就園奨励費(円)	満3歳児	0	0	3歳児	43	5,610,800	4歳児	69	8,708,900	5歳児	55	6,182,100	合計	167	20,501,800	【補助金額(円)】		補助金額(円)		6,833,000		学校区分	認定者(人)	助成額(円)	公立	20	591,108	私立	4	200,000	合計	24	791,108
学校名	認定者(人)	就学援助費(円)																																																																																							
三郷小学校	17	0																																																																																							
三郷北小学校	1	0																																																																																							
三郷中学校	10	311,731																																																																																							
合計	28	311,731																																																																																							
【国庫補助金】																																																																																									
補助金額(円)																																																																																									
0																																																																																									
0																																																																																									
155,000	※修学旅行費のみ																																																																																								
155,000																																																																																									
学校名	認定者(人)	就学援助費(円)	給食費(円)	援助費合計(円)																																																																																					
三郷小学校	56	2,433,915	2,324,810	4,758,725																																																																																					
三郷北小学校	27	1,070,600	1,149,080	2,219,680																																																																																					
三郷中学校	58	3,452,976	2,662,800	6,115,776																																																																																					
合計	141	6,957,491	6,136,690	13,094,181																																																																																					
園児区分※	受給者(人)	就園奨励費(円)																																																																																							
満3歳児	0	0																																																																																							
3歳児	43	5,610,800																																																																																							
4歳児	69	8,708,900																																																																																							
5歳児	55	6,182,100																																																																																							
合計	167	20,501,800																																																																																							
【補助金額(円)】																																																																																									
補助金額(円)																																																																																									
6,833,000																																																																																									
学校区分	認定者(人)	助成額(円)																																																																																							
公立	20	591,108																																																																																							
私立	4	200,000																																																																																							
合計	24	791,108																																																																																							

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> 就学援助の認定者は、小中学校合わせて全児童生徒1,699名中、認定者は169名(認定率9.9%)で、前年度と比較し、約2%の減となった。これは、これまでの対象者の中で認否の異動があったわけではなく、町立学校3校全てにおける新入学児童生徒の就学援助対象者数が、前年度卒業生徒の就学援助対象者数を下回ったためである。【成果指標①】 平成30年度より、中学校と同様に小学校へ入学準備金の入学前支給を実施した。入学前は準備費用が嵩むことから、保護者からは当該新制度について肯定的な反応が多かった。 私立幼稚園就園奨励費の受給者数は、前年度より6名減の167名。国の要綱改正に合わせ、町の補助額を引き上げたが、受給者数の減により幼稚園就園奨励費の給付総額は前年度より減となった。【成果指標②】 育英振興助成金については、24名(公立20名・私立4名)の対象者に対し、制服等の高校等入学に要した費用の一部を助成。支給人数はほぼ横ばいであるが、兄や姉と同じ学校へ進学したり、制服が規定されていない等、制服の購入の必要がない学校へ進学した生徒については、当該助成金の支給上限額に至らないケースもあり、決算額に端数が生じた。【成果指標③】
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H29年度	H30年度	決算額(円)
	①小中学校就学援助		認定者数	人	200	169
認定率			%	11.6	9.9	H29 H30
②私立幼稚園就園奨励費補助		受給者及び減免者数	人	173	167	H29 22,151,500 H30 20,501,800
		③育英振興助成金	認定者数	人	22	24

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①町立以外の小中学校へ通う児童・生徒の保護者の就学援助制度の認知。 ②育英振興助成金制度の認知度も未だ低いことから、更なる周知方法を検討。 <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①就学援助について、「支給方法を始め、制度そのものが複雑で分かりにくい」との意見が保護者より寄せられている。
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①就学援助の制度については、町立以外の小中学校に通っている児童・生徒の世帯も含め、すべての対象者に認識されるよう、町ホームページの活用はもとより、facebookの活用等、引き続き周知方法の工夫を図る。 ②高校進学を控える中学3年生の保護者宛に育英振興助成金に関する案内を直接郵送することにより、助成金制度の周知に努める。 <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①他市町村の通知方法及び文例を参考にし、できるだけ分かりやすい説明方法を検討する。
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input checked="" type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/>手法見直し <input checked="" type="checkbox"/>休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> 育英振興助成金制度の認知定着に向け、就学援助受給世帯等、あらかじめ制度の対象となることが判明している世帯に対して申請勧奨を行う等、個別の対応により周知を徹底する。 幼児教育の重要性に鑑み、国における就園奨励費の国庫補助限度額が毎年引き上げられていることから、本町においても限度額の引き上げ等、国にあわせた拡充を実施している。なお、新しい幼児教育無償化制度が令和元年10月から始まる予定であることから、就園奨励費は同年9月分をもって終了する。 就学援助の制度周知については、学校を通じて全児童生徒に案内文書を配布すると共に、町外の学校に通う児童生徒の保護者宛には郵送し、併せて広報誌やfacebookの活用など、全ての児童生徒の世帯に周知できるよう努める。 就学援助については、令和元年度より卒業アルバム代が新たに国の補助対象経費の費目となったため、町においても支給対象とする。今後も引き続き、国の動向に併せて就学援助の対象費目の充実を図る。

平成30年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	④特別支援教育の推進	担当課名	教育総務課	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	・学校教育において、特別に支援を要する幼児・児童・生徒について、誰もがともに学べる「なかまづくり」の教育と体制の整備を進めます。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児・児童・生徒一人ひとりの教育ニーズを把握し、子どもたちの持っている力を高め、生活や学習上の課題を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う特別支援教育を推進する。 ○教育相談 <ul style="list-style-type: none"> ・就学前の幼児を持つ保護者に対し、障がい等の状況に応じた適切な教育が受けられるよう教育相談を実施。 ○特別支援教育担当者連絡会 <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の連携を目的に、情報共有や就学指導のあり方を検討するため、定期的に担当者連絡会を開催。 ◎特別支援教育就学奨励費【国庫補助事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級在籍児童・生徒の保護者に対し、その経済的負担の軽減を図るため、世帯の所得額等の条件を付して、対象者に学用品費や学校給食費などの一部を援助する。 ※小中学校就学援助の認定者は支給対象外。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援を必要とする幼児・児童・生徒を支援するため、町費による臨時講師等（常勤・非常勤）を各学校に配置。 【配置講師数】 <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr><td>南畑幼稚園</td><td style="text-align: right;">1人</td></tr> <tr><td>三郷小学校</td><td style="text-align: right;">5人</td></tr> <tr><td>三郷北小学校</td><td style="text-align: right;">6人</td></tr> <tr><td>三郷中学校</td><td style="text-align: right;">3人</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">15人</td></tr> </table> ○教育相談の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・就学前の幼児を持つ保護者を対象に、平成30年7月に斑鳩町中央公民館において生駒郡合同の教育相談会を開催。 【相談人数】 <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr><td>三郷小学校区</td><td style="text-align: right;">7人</td></tr> <tr><td>三郷北小学校区</td><td style="text-align: right;">19人</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">26人</td></tr> </table> ○特別支援教育担当者連絡会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の充実を図るため、小中学校の特別支援担当教員及び教育委員会事務局担当者において情報共有を行い、連携を図る場として平成21年度より設置している「特別支援教育担当者連絡会議」を定期的に開催した。 (年間7回開催) ◎特別支援教育就学奨励費【国庫補助】 <ul style="list-style-type: none"> 【就学奨励費認定者数】 <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr><td>三郷小学校</td><td style="text-align: right;">6人</td></tr> <tr><td>三郷北小学校</td><td style="text-align: right;">26人</td></tr> <tr><td>三郷中学校</td><td style="text-align: right;">14人</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">46人</td></tr> </table> ※平成30年度決算額：1,833,305円（補助額 897,000円） <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr> <td>(内訳) 三郷小学校</td> <td style="text-align: right;">226,620円（補助額 111,000円）</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校</td> <td style="text-align: right;">937,735円（補助額 458,000円）</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td style="text-align: right;">668,950円（補助額 328,000円）</td> </tr> </table> 	南畑幼稚園	1人	三郷小学校	5人	三郷北小学校	6人	三郷中学校	3人	合計	15人	三郷小学校区	7人	三郷北小学校区	19人	合計	26人	三郷小学校	6人	三郷北小学校	26人	三郷中学校	14人	合計	46人	(内訳) 三郷小学校	226,620円（補助額 111,000円）	三郷北小学校	937,735円（補助額 458,000円）	三郷中学校	668,950円（補助額 328,000円）
南畑幼稚園	1人																														
三郷小学校	5人																														
三郷北小学校	6人																														
三郷中学校	3人																														
合計	15人																														
三郷小学校区	7人																														
三郷北小学校区	19人																														
合計	26人																														
三郷小学校	6人																														
三郷北小学校	26人																														
三郷中学校	14人																														
合計	46人																														
(内訳) 三郷小学校	226,620円（補助額 111,000円）																														
三郷北小学校	937,735円（補助額 458,000円）																														
三郷中学校	668,950円（補助額 328,000円）																														

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒は増加傾向にあることから、県の配置基準に加えて、町費による講師を各学校に配置。平成30年度は、三郷小学校に常勤5人、三郷北小学校に常勤6人、三郷中学校に常勤3人、南畑幼稚園には非常勤1人の計15人を配置した。(前年度より幼稚園で2名減) 【成果指標①】 就学前の相談では、保護者の就学に対する不安を解消するため、事務局と特別支援担当の教員が相談を行うことにより、園での生活の仕方や専門機関への案内等、幼児の現状に応じたアドバイスができた。また、平成30年度の相談件数は前年度より10件増加の26件で、相談内容としては特別支援学級入級に係る相談及び「ことばの教室」への通級に係る相談が多かった。 【成果指標②】 特別支援担当者連絡会議を年間7回開催し、幼保小中学校間の情報交換と連携を図った。【成果指標③】 特別支援教育就学奨励費の給付認定者は、特別支援学級入級児童生徒83名中46名(就学援助認定者6名を除く。)と、前年度に比べ2名増となった。しかしながら、認定率は55.4%と、前年度の59.5%と比して減少している。これは、特別支援学級へ入級する児童が増加傾向にある一方で、給付については所得の制限等により新規の受給認定世帯が減少したためと考えられる。【成果指標④】
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H29年度	H30年度	決算額(円)
	①特別支援教育の推進	配置講師数	人	17	15	H29 45,524,249 H30 40,723,610
②教育相談	相談人数	人	16	26	H29 H30	
③特別支援教育担当者連絡会	開催回数	回	5	7	H29 H30	
④特別支援教育就学奨励費	認定者数	人	44	46	H29 1,616,419 H30 1,833,305	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①年々、特別支援を必要とする園児・児童・生徒が増加しているとともに、個別の教育的ニーズも多様化している。また、授業内容や子どもたちの体調等により、別室において適切な支援が必要となるケースが増えてきていることから、個々の対応を検討する必要がある。 ②就学前教育相談については、年々件数が増加しており、生駒郡合同教育相談においても会場を増設する状況になってきていることから、町において随時相談できる体制構築の検討が必要である。 ③医療的ケアを必要とする児童・生徒への対応方法等を検討する必要がある。
	<p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①重度の障がいを持つ児童・生徒の学校における受け入れ体制の構築。

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①教育と福祉など行政分野を超えた切れ目ない連携をより一層推進するために、担当者連絡会議等を通して情報共有を図るとともに、子どもたちの指導及び支援をする教員の確保並びに教員の専門性を向上させ、多様な教育的ニーズに応え得る柔軟な体制を構築する。 ②特別支援教育に係る相談体制を見直すと共に、各種支援に対するニーズを把握し、きめ細かな対応を検討。 ③生駒郡合同教育相談の開催について周知徹底を図るとともに、随時の教育相談にも対応するよう努める。 ④医療的ケアを必要とする児童生徒への対応等、支援のあり方について検討する。
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①インクルーシブ教育理念の下、どのような障がいをもつ児童・生徒でも地域の学校で受け入れることのできる体制づくりを目指し、バリアフリー化を含めた施設面はもとより、必要に応じた看護師の配置等の人的措置など、ハード面・ソフト面双方の整備・検討が必要である。

6 今後の計画・方向性(PPLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可) (内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児をはじめ、児童・生徒や保護者等のニーズ及び個々の状況の変化に対応し得る総合的なサポート体制を確立する。 ・インクルーシブ教育の充実に向けて、教育体制の見直しを行う。 		

平成30年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑤情報・国際教育の推進	担当課名	教育総務課	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・校内におけるLANの整備を進めるとともに、教育用コンピュータの充実に努めます。 ・生きた外国語の学習や異文化への理解を養うため、ALT制度の充実に図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>○校内LAN・教育用コンピュータの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行の校内LANは、セキュリティの強化をはじめ、ICT教育の推進に当たり導入している各種ICT機器を有効活用するために根本的な整備・更新が必要なことから、文部科学省発出の「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」を参考に教育ネットワークを整備。併せて、学習用PCの更新をはじめ教員の校務用PCの整備を実施。 <p>○ICT (Information and Communication Technologyの略。情報通信技術) 教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度より3ヵ年計画で導入している電子黒板及びタブレットPCを活用した情報活用能力の更なる育成。 <p>○ALT (Assistant of Language Teacherの略。学校で外国語授業の補助を行う外国語指導助手) 派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きた外国語の学習や異文化に対する理解を養うため、各小中学校へALTの派遣を行う。 ・南畑幼稚園においても、幼児期からの国際理解や英語教育を図るため、ALTとの交流会を行う。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○教育用コンピュータ等の設置状況(現行)																																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 類</th> <th colspan="4">設 置 台 数 (台)</th> </tr> <tr> <th>三郷小学校</th> <th>三郷北小学校</th> <th>三郷中学校</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校務系サーバ</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>学習系サーバ</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>校務用PC (ノート)</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>学習用PC (デスクトップ)</td> <td>35</td> <td>38</td> <td>42</td> <td>115</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	設 置 台 数 (台)				三郷小学校	三郷北小学校	三郷中学校	合計	校務系サーバ		1		1	学習系サーバ		1		1	校務用PC (ノート)	50	50	50	150	学習用PC (デスクトップ)	35	38	42	115																																						
	種 類		設 置 台 数 (台)																																																																	
		三郷小学校	三郷北小学校	三郷中学校	合計																																																															
	校務系サーバ		1		1																																																															
	学習系サーバ		1		1																																																															
	校務用PC (ノート)	50	50	50	150																																																															
	学習用PC (デスクトップ)	35	38	42	115																																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>三郷小学校</th> <th>三郷北小学校</th> <th>三郷中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置場所</td> <td>南館2階パソコンルーム</td> <td>北館2階コンピュータ教室</td> <td>1階メディアルーム</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各校とも平成30年度に整備済み</p>		三郷小学校	三郷北小学校	三郷中学校	設置場所	南館2階パソコンルーム	北館2階コンピュータ教室	1階メディアルーム																																																											
		三郷小学校	三郷北小学校	三郷中学校																																																																
設置場所	南館2階パソコンルーム	北館2階コンピュータ教室	1階メディアルーム																																																																	
○ICT教育の推進																																																																				
<ul style="list-style-type: none"> ・平成28・29年度に続き、町立小中学校に電子黒板・書画カメラ及びタブレットPCを導入。 <p>(単位:台)</p>																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ICT機器</th> <th colspan="3">三郷小学校</th> <th colspan="3">三郷北小学校</th> <th colspan="3">三郷中学校</th> <th colspan="3">計</th> <th rowspan="2">合計 (3ヵ年)</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電子黒板</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>11</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>13</td> <td>22</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>36</td> <td>16</td> <td>24</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>書画カメラ</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>11</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>13</td> <td>22</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>36</td> <td>16</td> <td>24</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>タブレットPC</td> <td>70</td> <td>60</td> <td>30</td> <td>70</td> <td>60</td> <td>90</td> <td>80</td> <td>140</td> <td>—</td> <td>220</td> <td>260</td> <td>120</td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table>	ICT機器	三郷小学校			三郷北小学校			三郷中学校			計			合計 (3ヵ年)	H28	H29	H30	H28	H29	H30	H28	H29	H30	H28	H29	H30	電子黒板	7	7	11	7	9	13	22	—	—	36	16	24	76	書画カメラ	7	7	11	7	9	13	22	—	—	36	16	24	76	タブレットPC	70	60	30	70	60	90	80	140	—	220	260	120	600
ICT機器		三郷小学校			三郷北小学校			三郷中学校			計				合計 (3ヵ年)																																																					
	H28	H29	H30	H28	H29	H30	H28	H29	H30	H28	H29	H30																																																								
電子黒板	7	7	11	7	9	13	22	—	—	36	16	24	76																																																							
書画カメラ	7	7	11	7	9	13	22	—	—	36	16	24	76																																																							
タブレットPC	70	60	30	70	60	90	80	140	—	220	260	120	600																																																							
<ul style="list-style-type: none"> ・町立小・中学校における無線LAN等の教育ネットワーク整備。 ・円滑にICT教育機器を利用した授業を開始できるよう、ICT支援員を配置。 																																																																				
○ALT派遣																																																																				
<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて三郷中学校に1名、各小学校及び幼稚園に1名、計2名のALTを派遣し、英語学習・異文化理解等の活動を実施。活動時間等は下表のとおり。 																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象</th> <th>クラス数<A></th> <th>年間時間数(時間)</th> <th>合計時間数(時間)<A>×</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">三郷中学校</td> <td>1年生</td> <td>5</td> <td>35</td> <td rowspan="3">560</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>5</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>6</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">三郷小学校</td> <td>3年生</td> <td>3</td> <td>15</td> <td rowspan="4">300</td> </tr> <tr> <td>4年生</td> <td>3</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>5年生</td> <td>2</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>6年生</td> <td>4</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">三郷北小学校</td> <td>3年生</td> <td>4</td> <td>15</td> <td rowspan="4">365</td> </tr> <tr> <td>4年生</td> <td>4</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>5年生</td> <td>3</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>6年生</td> <td>4</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">南畑幼稚園</td> <td>年中</td> <td>1</td> <td>3</td> <td rowspan="2">8</td> </tr> <tr> <td>年長</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>45</td> <td>313</td> <td>1,233</td> </tr> </tbody> </table>		対象	クラス数<A>	年間時間数(時間)	合計時間数(時間)<A>×	三郷中学校	1年生	5	35	560	2年生	5	35	3年生	6	35	三郷小学校	3年生	3	15	300	4年生	3	15	5年生	2	35	6年生	4	35	三郷北小学校	3年生	4	15	365	4年生	4	15	5年生	3	35	6年生	4	35	南畑幼稚園	年中	1	3	8	年長	1	5	合 計		45	313	1,233											
	対象	クラス数<A>	年間時間数(時間)	合計時間数(時間)<A>×																																																																
三郷中学校	1年生	5	35	560																																																																
	2年生	5	35																																																																	
	3年生	6	35																																																																	
三郷小学校	3年生	3	15	300																																																																
	4年生	3	15																																																																	
	5年生	2	35																																																																	
	6年生	4	35																																																																	
三郷北小学校	3年生	4	15	365																																																																
	4年生	4	15																																																																	
	5年生	3	35																																																																	
	6年生	4	35																																																																	
南畑幼稚園	年中	1	3	8																																																																
	年長	1	5																																																																	
合 計		45	313	1,233																																																																

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○教育ネットワークの構築状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国的にICT機器を活用した教育が主流になる中、本町においても更なるICT教育の推進を図るため、教育ネットワークの構築を行った。併せてPC(学習用115台・校務用150台)及び周辺機器(校務用プリンタ6台等)の整備・更新等を実施し、教育のICT化の基盤を構築した。 <p>○ICT教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度から平成30年度までの3カ年で電子黒板76台(三郷小学校25台、三郷北小学校29台、三郷中学校22台)、書画カメラ76台(三郷小学校25台、三郷北小学校29台、三郷中学校22台)、タブレットPC600台(三郷小学校160台、三郷北小学校220台、三郷中学校220台)の整備を完了。平成28・29年度に引き続き、3カ年目にあたる平成30年度では、電子黒板24台(三郷小学校11台、三郷北小学校13台)、書画カメラ24台(三郷小学校11台、三郷北小学校13台)、タブレットPC120台(三郷小学校30台、三郷北小学校90台)の整備が完了した。【成果指標①】 <p>○ALT派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度より小学校5・6年生の外国語活動が必修となっていることから、前年度に引き続き小学校において、ALTを各クラス年間35時間派遣。また、2020年度より実施される新学習指導要領への移行期間となる平成30年度は、小学校3・4年生についても年間15時間の派遣時間を新たに確保した。 中学校に1名、幼稚園及び小学校に1名の計2名のALTを派遣し、平成30年度は年間計1,233時間の授業を実施した。【成果指標②】
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H29年度	H30年度	決算額(円)
	①ICT教育の推進		電子黒板・書画カメラ・タブレットPC小中学校合計	台	292	168
②ALT派遣		ALTによる授業時間 幼稚園・小中学校合計	時間	1,093	1,233	H29 7,375,752 H30 7,900,000

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 平成19年度の設置以降、10年が経過している小学校の教育用コンピュータについては、更なる情報教育の充実を図るためにも、速やかな機器更新を要する。 平成28～30年度にICT機器の導入を行ったが、導入したICT教育機器を充分に活用できる教員の育成(校内研修等)方法について検討する必要がある。 ICT機器の使用頻度を上げるため、デジタル教科書等の導入を更に進める必要がある。 教職員の情報セキュリティへの意識改革。 <p>【新たな課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 各タブレットのHDDの容量不足により、大容量のデジタル教科書等がインストールできない。 著しいバッテリーの消耗等、過去に導入したICT機器に経年劣化が見受けられるようになってきている。 小学校教職員の外国語指導力の向上。
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 教育用ネットワーク構築事業に併せて、教育用コンピュータの全台更新を行った。 各学校において情報専門部会が発足され始めており、教職員同士でICT教育の推進方法を検討しており、成果がでてきている。 各校からの要望に応じたデジタル教材の導入を進めるための検討が必要となっている。 外部メモリ等の取扱方法など、情報セキュリティ研修会の開催や学校管理職と連携し、教職員の情報管理に関する意識向上の徹底などを行っている。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ol style="list-style-type: none"> デジタル教材を導入するにあたって、学校と連携し教材選定に努める。 今後もICT教育の推進を図るうえで、実稼働台数を学校に確認し修理費の予算措置を検討する。 教職員がALT講師から発音指導等を受けるなど、教職員が主体となって児童に外国語を指導できるようスキルアップを図ると共に、英語専科の教職員の配置を検討する。
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input checked="" type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> 奈良県教育委員会が整備する統合型校務支援システムを導入するため、圏域ネットワークと本町教育ネットワークを接続し、事務処理をデータで行えるようネットワーク構成を検討する。 2020年度からの小学校における英語教科化に備え、ALT派遣日数の増加が必須となることから、ALT派遣事業の拡充と充実に努める。

平成30年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑥いじめ・不登校の対策	担当課名	学校教育課	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生を対象とした専門機関によるメンタルヘルス相談や、中学校への心の相談員の配置による「いじめ」や不登校児童生徒の早期発見・早期指導の実施を継続します。 ・教職員経験者など地域の人材の参加を得ながら、多様な教育の展開ができるよう、広域的な連携を含めた支援のあり方を検討します。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>いじめ・不登校対策として、奈良県が実施するスクールカウンセラー事業を活用しながら、町独自で「心の相談員」を配置するとともに、専門機関にメンタルヘルス相談業務を委託し、児童生徒の悩みに対して、適切かつ迅速に対応し、児童生徒が安心して学習に取り組むことができるよう相談体制の充実を図る。</p> <p>◎スクールカウンセラー活用事業【県費】 いじめや不登校などの対策として、学校におけるカウンセリング機能を強化するため、臨床心理士などの資格を持ったスクールカウンセラーを中学校に配置する。</p> <p>○心の相談員 生徒の悩み・不安・ストレスに対し、気軽にカウンセリングできる「心の相談員」を中学校に配置する。</p> <p>○メンタルヘルス相談 園児及び小中学生とその保護者や教員等も含め、メンタル面での相談業務を専門機関に委託し、健やかな心身の保持増進に努める。</p> <p>○不登校対策連絡会 町立の小中学校における不登校問題を総合的に検討し、不登校の防止及び登校を促す指導に努め、児童及び生徒の健やかな育成を推進する。</p>
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>◎スクールカウンセラー活用事業【県費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三郷中学校へ1人配置 年間勤務日数 17日 相談ケース数 <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>①児童生徒</td><td>: 17回</td></tr> <tr><td>②保護者</td><td>: 0回</td></tr> <tr><td>③教職員</td><td>: 3回</td></tr> <tr><td>合計</td><td>: 20回</td></tr> </table> 主な相談内容 不登校への対応、学校生活、友人関係など ※児童生徒へのカウンセリングのほか、教職員などへの助言。 <p>○心の相談員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三郷中学校へ1人配置 年間勤務日数 116日 相談ケース数 288回 主な相談内容 不登校問題、学校生活全般、本人に関わる問題など ※その他、全校生徒を対象にストレスチェックのアンケートを実施。 <p>○メンタルヘルス相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児、児童生徒、保護者及び教職員の相談に対応するため、ハートランドしぎさんに相談業務を委託し、専門機関による相談を実施。 相談ケース数 <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>①園児児童生徒</td><td>: 5回</td></tr> <tr><td>②保護者</td><td>: 41回</td></tr> <tr><td>③教職員</td><td>: 74回</td></tr> <tr><td>合計</td><td>: 120回</td></tr> </table> ※延べ回数で計上。 <p>○不登校対策連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校の児童生徒の実態把握と情報の共有、その後の現況報告並びに対応について協議・検討を行った。 年間開催回数 12回 <p>○不登校を語る保護者の集い(ブリーズ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度は生駒郡教育長会の事業として3回実施。天理大学大学院教授から、保護者に様々な助言がなされた。 主な内容 <ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童の保護者の交流及び悩みの共有。 ・不登校児童の保護者へのアドバイス。 参加人数 9人 ※延べ人数 	①児童生徒	: 17回	②保護者	: 0回	③教職員	: 3回	合計	: 20回	①園児児童生徒	: 5回	②保護者	: 41回	③教職員	: 74回	合計	: 120回
①児童生徒	: 17回																
②保護者	: 0回																
③教職員	: 3回																
合計	: 20回																
①園児児童生徒	: 5回																
②保護者	: 41回																
③教職員	: 74回																
合計	: 120回																

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめや不登校、その他、児童生徒の抱える問題に対して、引き続き下記の事業を継続実施し、一人ひとりの状況に応じた相談を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ①専門的なカウンセリングができるスクールカウンセラーの配置 <ul style="list-style-type: none"> →相談回数が減少している主な要因としては、カウンセリングルームが仮設校舎内ではなく、大学側の校舎にあったことも影響したように思われる。【成果指標①】 ②生徒の悩みを気軽に相談できる「心の相談員」の配置 <ul style="list-style-type: none"> →相談回数は前年度と同数。【成果指標②】 ③専門機関での相談を行うため、メンタルヘルス相談業務の委託（ハートランドしぎさん） <ul style="list-style-type: none"> →県からのスクールカウンセラーの配置がない各小学校においては、メンタルヘルス相談事業によりハートランドしぎさんの臨床心理士による巡回相談を行っている。教職員からの紹介の他、学期毎に巡回相談の日程について配布し、各保護者からも相談できるような体制をとっている。平成30年度の傾向として児童生徒からの相談が大幅に減り、教職員からの相談が増えている。これは、児童生徒の相談は学級担任等、身近な教職員が受け皿となっており、その結果として児童生徒に直接対応する教職員からの相談が増えているものと考えられる。【成果指標③】 ・中学校において、全校生徒を対象に「こころとからだの健康チェック」と題してアンケートを年2回実施。アンケートの結果、ストレスが高いと判断される生徒に対し、担任のフォローアップ及び相談室との連携等を行った。平成29年度から仮設校舎での学校生活2年目となったが、前年に引き続き比較的安定した状況であることがうかがえた。 ・「不登校対策連絡会」では、不登校の児童及び生徒の実態把握、指導体制の整備及び家庭との連携強化について、引き続き協議及び検討を行った。平成30年度の不登校児童生徒数は、前年度比2人減の10人。不登校支援担当指導主事3名を中心に不登校児童生徒やその保護者へのきめ細やかな支援を実施するとともに、不登校対策連絡会の継続的な実施により着実に不登校児童生徒の数が減少してきており、学校と関係機関との連携強化の成果がうかがえる。【成果指標④】 (不登校：年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの)
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H29年度	H30年度	決算額(円)
	①スクールカウンセラー(県費)	相談回数	回	40	20	H29 H30
②心の相談員(町費)	相談回数	回	288	288	H29 1,548,920 H30 2,109,245	
③メンタルヘルス相談	相談回数	回	152	120	H29 570,000 H30 570,000	
④不登校対策連絡会	不登校児童生徒数	人	12	10	H29 2,332,597 H30 2,581,682	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①不登校児童・生徒などを孤立させない対策として、不登校対策連絡会を引き続き実施するとともに、通学支援・学習支援を継続していく必要がある。 ②不登校児童生徒数に対し、「不登校を語る保護者の集い」の参加者数が少なく、不登校児童生徒の保護者が孤立化している可能性がある。 <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①不登校対策連絡会を毎月実施し、教育行政をはじめとする関係機関及び学校間において情報共有をするとともに、引き続き不登校支援担当の指導主事を3名配置し、通学・学習支援の充実を図り、不登校児童生徒は減少傾向にある。 ②「不登校を語る保護者の集い」について、生駒郡内各町の連携を強化し、まだ参加していない、若しくは参加を躊躇する保護者も参加しやすいよう、周知方法及び実施体制のあり方を検討する。 <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p>
	<input type="checkbox"/> 見直し	
<p>・今後も不登校問題をはじめ、児童生徒のさまざまな課題にきめ細かな対応をするため、相談体制の充実を図るとともに、個別に抱える問題や状況に応じてスクールソーシャルワーカー等の活用も積極的に行う。</p>		

平成30年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑦地域の教育力の向上	担当課名	教育総務課 生涯学習課	教育大綱	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校が協力しながら、地域の文化や人材を活かした体験学習を継続します。 ・まち全体が学びの場となるまちづくりをめざして、子どもたちの学習に提供できる場所や資源などの掘り起こしとネットワークの体制強化を図ります。 ・学校の環境美化や緑化推進活動などについて、各種団体や地域ボランティアの参加協力を得られるように体制の構築を図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>◎子ども人権学習支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化や核家族化の進行、就労形態の多様化及び家庭や地域の子育て意識の低下など、子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、放課後の居場所作り及び子どもの様々な活動を支援する事業を実施し、地域の教育力の向上を図る。 ・各小中学校において、地域指導員の指導のもと、和太鼓、手話コーラス、ゲートボールなど様々な体験学習を実施する。 <p>◎学校支援地域本部事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを目的に、学校が必要とする活動に関わるボランティアを地域から募り、学校における環境整備や教育活動の支援をする。 <p>◎上記2事業が県補助事業（学校・地域連携事業）の対象であることから、本補助制度を活用し、各種事業を実施。</p>
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	◎子ども人権学習支援事業																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>活動名称</th> <th>学校名</th> <th>登録人数</th> <th>実施回数</th> <th>活動内容</th> <th>担当課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>どんどん和太鼓</td> <td>三郷中学校</td> <td>10人</td> <td>28回</td> <td>和太鼓の演奏</td> <td>生涯学習課</td> </tr> <tr> <td>奈良学園大学で学び隊</td> <td>三郷中学校</td> <td>11人</td> <td>10回</td> <td>数学・理科・家庭科の実習</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>多聞クラブ</td> <td>三郷小学校</td> <td>13人</td> <td>13回</td> <td>ゲートボール体験</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>ふれあいクラブ</td> <td>三郷小学校</td> <td>28人</td> <td>14回</td> <td>和太鼓の演奏</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">親子で遊び隊</td> <td rowspan="2">三郷小学校</td> <td>26人</td> <td>1回</td> <td>デイキャンプ</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>46人</td> <td>1回</td> <td>凧作り※北小「つながり学級」合同</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>にこやかクラブ</td> <td>三郷北小学校</td> <td>15人</td> <td>13回</td> <td>手話コーラス</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>つながり学級</td> <td>三郷北小学校</td> <td>46人</td> <td>7回</td> <td>軽スポーツ、お茶、ものづくりなど</td> <td>生涯学習課</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各活動の指導には、地域住民や各種団体の協力を得た。</p>	活動名称	学校名	登録人数	実施回数	活動内容	担当課	どんどん和太鼓	三郷中学校	10人	28回	和太鼓の演奏	生涯学習課	奈良学園大学で学び隊	三郷中学校	11人	10回	数学・理科・家庭科の実習	教育総務課	多聞クラブ	三郷小学校	13人	13回	ゲートボール体験	教育総務課	ふれあいクラブ	三郷小学校	28人	14回	和太鼓の演奏	教育総務課	親子で遊び隊	三郷小学校	26人	1回	デイキャンプ	教育総務課	46人	1回	凧作り※北小「つながり学級」合同	教育総務課	にこやかクラブ	三郷北小学校	15人	13回	手話コーラス	教育総務課	つながり学級	三郷北小学校	46人	7回	軽スポーツ、お茶、ものづくりなど	生涯学習課
	活動名称	学校名	登録人数	実施回数	活動内容	担当課																																															
	どんどん和太鼓	三郷中学校	10人	28回	和太鼓の演奏	生涯学習課																																															
	奈良学園大学で学び隊	三郷中学校	11人	10回	数学・理科・家庭科の実習	教育総務課																																															
	多聞クラブ	三郷小学校	13人	13回	ゲートボール体験	教育総務課																																															
	ふれあいクラブ	三郷小学校	28人	14回	和太鼓の演奏	教育総務課																																															
	親子で遊び隊	三郷小学校	26人	1回	デイキャンプ	教育総務課																																															
			46人	1回	凧作り※北小「つながり学級」合同	教育総務課																																															
	にこやかクラブ	三郷北小学校	15人	13回	手話コーラス	教育総務課																																															
つながり学級	三郷北小学校	46人	7回	軽スポーツ、お茶、ものづくりなど	生涯学習課																																																
◎学校支援地域本部事業																																																					
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども人権学習支援事業の各種活動については、毎年、継続参加する児童・生徒も増えている。 																																																					
<主な活動実績>																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校</td> <td>緑化推進活動、朝の登校見守り、運動会準備、卓球・一輪車クラブ支援、図書支援、新1年生の下校安全見守り、本の読み聞かせ、昔遊び、英語学習支援、校区探検、家庭科実習(被服・調理)支援、音楽会楽器指導補助、平和学習支援、多聞号清掃、さつま芋栽培など</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校</td> <td>緑化推進活動、花壇整備、わくわく農園・ケーブルカーの開放、施設管理、図書支援、新1年生の下校安全見守り、昔遊び、本の読み聞かせ、英語学習支援、校区探検、和楽器の鑑賞・体験、家庭科実習(被服・調理)支援、田植え・稲刈り支援、平和学習支援、プール安全監視、昔の暮らし学習、図書館見学学習、卒業感謝フィールドワークなど</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td>家庭科実習(被服)支援、図書支援、花壇への灌水など</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	活動内容	三郷小学校	緑化推進活動、朝の登校見守り、運動会準備、卓球・一輪車クラブ支援、図書支援、新1年生の下校安全見守り、本の読み聞かせ、昔遊び、英語学習支援、校区探検、家庭科実習(被服・調理)支援、音楽会楽器指導補助、平和学習支援、多聞号清掃、さつま芋栽培など	三郷北小学校	緑化推進活動、花壇整備、わくわく農園・ケーブルカーの開放、施設管理、図書支援、新1年生の下校安全見守り、昔遊び、本の読み聞かせ、英語学習支援、校区探検、和楽器の鑑賞・体験、家庭科実習(被服・調理)支援、田植え・稲刈り支援、平和学習支援、プール安全監視、昔の暮らし学習、図書館見学学習、卒業感謝フィールドワークなど	三郷中学校	家庭科実習(被服)支援、図書支援、花壇への灌水など																																													
学校名	活動内容																																																				
三郷小学校	緑化推進活動、朝の登校見守り、運動会準備、卓球・一輪車クラブ支援、図書支援、新1年生の下校安全見守り、本の読み聞かせ、昔遊び、英語学習支援、校区探検、家庭科実習(被服・調理)支援、音楽会楽器指導補助、平和学習支援、多聞号清掃、さつま芋栽培など																																																				
三郷北小学校	緑化推進活動、花壇整備、わくわく農園・ケーブルカーの開放、施設管理、図書支援、新1年生の下校安全見守り、昔遊び、本の読み聞かせ、英語学習支援、校区探検、和楽器の鑑賞・体験、家庭科実習(被服・調理)支援、田植え・稲刈り支援、平和学習支援、プール安全監視、昔の暮らし学習、図書館見学学習、卒業感謝フィールドワークなど																																																				
三郷中学校	家庭科実習(被服)支援、図書支援、花壇への灌水など																																																				
<学校支援ボランティア登録人数>																																																					
計：233人(前年度比35人増)																																																					
<その他>																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>開催場所</th> <th>開催日</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">天体観測会</td> <td rowspan="2">保健センター前</td> <td>9月18日(火)</td> <td>雨天順延</td> </tr> <tr> <td>11月19日(月)</td> <td>雨天中止</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ボランティア給食会</td> <td>三郷北小学校</td> <td>1月18日(金)</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>三郷小学校</td> <td>2月21日(水)</td> <td>21人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※天体観測会は、学校支援ボランティア間の交流及び情報交換の場として実施。 ※給食会は、学校支援地域本部事業「昔遊び」と日程を合わせ、学校支援ボランティアと子どもたちとの交流も目的に実施。</p>	内容	開催場所	開催日	参加人数	天体観測会	保健センター前	9月18日(火)	雨天順延	11月19日(月)	雨天中止	ボランティア給食会	三郷北小学校	1月18日(金)	18人	三郷小学校	2月21日(水)	21人																																				
内容	開催場所	開催日	参加人数																																																		
天体観測会	保健センター前	9月18日(火)	雨天順延																																																		
		11月19日(月)	雨天中止																																																		
ボランティア給食会	三郷北小学校	1月18日(金)	18人																																																		
	三郷小学校	2月21日(水)	21人																																																		

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>◎子ども人権学習支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方や各種団体の指導の下、世代間の交流を図り、子ども達が日頃経験できない様々な活動を通して仲間とともに達成する喜びを学んだ。また、今年度は、中学校の校舎建替えに伴う仮設校舎が位置する奈良学園大学の教授や講師の協力を得て、新規講座として各種講義(化石探掘・調理実習など)を開講。 <p>◎学校支援地域本部事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの新規登録者数は、例年、学生登録者の学校卒業に伴う脱退等により新規登録数と脱退数が相殺されることから、伸びは緩やかではあるが、平成30年度は前年度比35名の増。また、平成30年度にはボランティア活動写真を図書館にて掲示し、ボランティア募集の啓発活動を前年度に引き続き実施。 ・県の補助金を有効に活用し、様々な事業を積極的に実施した。 ・多くのボランティアの参加の下、両小学校において「古典音楽鑑賞会」や「田植え」等、様々な活動を実施。これらの事業は、例年、子どもたちにとって充実した貴重な体験授業となっている。
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H29年度	H30年度	決算額(円)
	①子ども人権学習支援事業	参加人数(延べ人数)	人	1,459	1,468	H29 1,309,268 H30 744,928
②学校支援地域本部事業	ボランティア登録人数	人	198	233	H28 970,188	
	ボランティア参加人数(各学校計・延べ人数)	人	1,701	1,545	H29 858,210	

※上記②の参加人数については、日常的なボランティア活動を含まない。

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①『子ども人権学習支援事業』…参加人数が少ない講座の募集方法及び魅力ある講座内容の検討。</p> <p>②『学校支援地域本部事業』…学校支援ボランティアの登録人数の伸び悩み及び登録人数と実稼働人数との乖離。</p> <p>③『子ども人権学習支援事業』…中学校仮設校舎の諸条件等により開催場所及び時間等の制限がある中での活動展開方法。</p> <p>④『学校支援地域本部事業』…ボランティアの高齢化に伴う体力的な問題やコーディネーターの高齢者ボランティアに対する参加要請の配慮等により参加人数は減少傾向にあることから、年齢や業務の種類等に応じた人選ができるよう幅広い年齢層における人材の確保。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①『子ども人権学習支援事業』…活動後の子どもの送迎をシルバー人材センターに委託しているが、運転業務を請け負える人材不足により、シルバー人材センターでの対応が難しくなっている。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①『子ども人権学習支援事業』…講座の内容によっては毎年引き続き参加している児童・生徒も多く、講座を本当に楽しんでいる姿がうかがえ、日頃の練習の成果を実感できたときの満足感と協力の大切さを知る仲間づくりができた。また、中学校では仮設校舎の立地を活かし、奈良学園大学の協力を得て、新しい講座を開講。子どもたちが興味を持って講座に参加し、多くを学べる有意義な事業展開ができた。</p> <p>②『学校支援地域本部事業』…平成29年度から実施している「ボランティア活動写真」の図書館での掲示は、一定の啓発効果が見られることから、継続的に実施。また、登録人数と実稼働人数の乖離については、新たな事業展開をすることにより参加枠を広げることを検討。また、ボランティア人材の確保については、産官学のネットワークを利用するなど、各学校のコーディネーターを中心に地域の人材発掘に引き続き努める。</p> <p>③『子ども人権学習支援事業』…目新しく、かつ、魅力ある講座を企画するため、現在、町で各種事業を推進している産官学の協働も視野に入れ、新規事業の企画を検討する。</p> <p>④『学校支援地域本部事業』…事業効果をボランティア一人ひとりが実感できる事業を実施することにより、若い世代の積極的なボランティア参加を促し、継続的かつ活発な事業展開を図る。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①『子ども人権学習支援事業』…職員による対応もしくは対応可能な事業者との契約を検討する。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)					
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容)	<input type="checkbox"/> 予算拡充	<input type="checkbox"/> 予算削減	<input type="checkbox"/> 事業拡大	<input type="checkbox"/> 事業縮小	<input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>「子ども人権学習支援事業」及び「学校支援地域本部事業」両事業において、地域と学校との連携を密にし、多くの方に参加してもらえるような事業に努める。</p>							

平成30年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑧安全・安心の学校づくり	担当課名	教育総務課	教育大綱	【「子育てなら三郷町」】
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 学校と地域の連携を深め、「子ども見まもり隊」をはじめとした地域ぐるみの見守り活動の展開を支援し、情報交換の場の設置を図ります。 子どもの安全を守るため、パトロールや巡視などの対策を継続するとともに、不審者情報メールの配信先を拡充し、万が一の際にも迅速に対応できる体制の整備を図ります。 園児・児童に対する防犯・交通安全教室を開催し、自ら身を守ることができる教育を進めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ◎子ども情報ネットさんごう <ul style="list-style-type: none"> 子どもの安全確保を目指し、不審者情報及び下校時刻の変更等を登録者にメール配信する。 ◎さんごう子ども見まもり隊 <ul style="list-style-type: none"> 学校と地域の連携により、自治会を中心とした住民ボランティアの方々にご協力いただき、登下校時の通学路で見守りを行う。 ボランティアの見守りに併せて、小中学校の下校時に安全巡視員を通学路に配置(シルバー人材センター委託)し、更に多くの目で見守ることで、児童生徒の安全確保を図る。 ◎青色防犯パトロール <ul style="list-style-type: none"> 小中学校の下校時にあわせて、町内を巡回する青色防犯パトロールを実施する。 ◎防犯・交通安全教室 <ul style="list-style-type: none"> 警察の協力により、小学校及び幼稚園において、防犯・交通安全教室を開催する。 ○子ども110番の家(環境政策課) <ul style="list-style-type: none"> 子どもが身の危険を感じたとき、また、被害に遭ったとき、子どもを保護し関係機関へ連絡するなどの子どもの安全確保はもとより、「子ども110番の家」の旗を掲げることで犯罪の抑制効果も期待できる。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	◎子ども情報ネット配信状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>不審者内容</th> <th>配信件数</th> <th>うち町内件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>声掛け</td> <td>14</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>つきまとい</td> <td>20</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>露出</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>痴漢</td> <td>10</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>盗撮</td> <td>12</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>傷害・犯罪</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>不審電話</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>62</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>	不審者内容	配信件数	うち町内件数	声掛け	14	1	つきまとい	20	3	露出	3	1	痴漢	10	2	盗撮	12	3	傷害・犯罪	2	1	不審電話	0	0	その他	1	0	合計	62	11	<p>【配信内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 三郷町及び近隣町で発生した子どもに関わる事件や不審者情報を登録者へメール配信する。 <p>【メール登録人数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童や生徒の保護者、各種団体・関係機関の関係者など計934人。(平成30年3月末現在)
	不審者内容	配信件数	うち町内件数																														
声掛け	14	1																															
つきまとい	20	3																															
露出	3	1																															
痴漢	10	2																															
盗撮	12	3																															
傷害・犯罪	2	1																															
不審電話	0	0																															
その他	1	0																															
合計	62	11																															
◎さんごう子ども見まもり隊	<p>【見まもり隊登録団体及び登録者数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>登録団体の種類</th> <th>団体数</th> <th>登録者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治会等</td> <td>13</td> <td>182</td> </tr> <tr> <td>学校関係</td> <td>7</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>各種団体</td> <td>13</td> <td>171</td> </tr> <tr> <td>町議会</td> <td>1</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>教育委員会</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>個人</td> <td>—</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>35</td> <td>504</td> </tr> </tbody> </table>	登録団体の種類	団体数	登録者数(人)	自治会等	13	182	学校関係	7	115	各種団体	13	171	町議会	1	13	教育委員会	1	5	個人	—	18	合計	35	504	<p>【子どもの安全対策連絡会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域との連携及び情報交換を図る場として子どもの安全対策連絡会議を各学期ごとに年3回実施。 							
登録団体の種類	団体数	登録者数(人)																															
自治会等	13	182																															
学校関係	7	115																															
各種団体	13	171																															
町議会	1	13																															
教育委員会	1	5																															
個人	—	18																															
合計	35	504																															

- ◎安全巡視員の派遣
 - 通学路上の安全確保のため、安全巡視員(シルバー人材センター)を派遣し、各学校の登下校時における交通指導及び巡視を実施。
 - ①三郷小学校 : 3人
 - ②三郷北小学校 : 3人
 - ③三郷中学校 : 2人
- ◎青色防犯パトロール
 - 子どもの安全を守るため、小中学校の下校時にあわせて、役場全課の職員が交代制により町内を巡回する青色防犯パトロールを実施。
 - ①三郷小学校校区 : 年間47回
 - ②三郷北小学校校区 : 年間47回
- ◎防犯教室など
 - 各学校・幼稚園で防犯教室を開催。
 - 新小学校1年生を対象に、警察より防犯ブザー、防犯交通安全対策協議会よりランドセルカバーを配布。
- 子ども110番の家
 - 登録世帯数: 479世帯(自治会、学校関係、各種団体など)
- 防犯カメラの設置
 - 町立幼稚園の正面玄関及びゲート周辺に防犯カメラを設置。(2箇所)

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> 町全体で子どもの安全対策に取り組んできた結果、平成30年度においても前年度に続き、子どもの生命や身体に危害を及ぼす重大な犯罪被害はない。これは、地域住民や子ども達の危機意識の向上が町内における犯罪被害防止につながっているものと考えられ、同時に町内における不審者情報件数も減少傾向にある。しかしながら、依然不審者の出没は頻発しており、全国的に発生する犯罪の被害状況等に鑑みても、地域全体の更なる防犯意識の向上と強固な連携及び協力は不可欠である。 なお、「子ども情報ネット配信」登録者数は、前年度比69人の増で、登録者数の増加は防犯意識の向上に比例しているものと思われる。【成果指標①】 「子ども見まもり隊」登録人数については、新規で24名の登録があった。しかしながら、未登録の見守り活動の協力者もいる反面、登録のまま活動を休止している人もいることから、登録者数と実働者数は未だ乖離しているものと思われる。【成果指標②】 何らかの対策を要する町内通学路危険箇所については、信号や標識等の掲示及び通行規制など、警察等の関係機関への協力依頼を要するケースも少なくないが、その必要性に鑑み、活動強化や通学路の点検協力など、これまでよりも具体的な動きが見られる。今後も重点的な通学路の点検及び関係機関への要望等の働きかけを継続していく。なお、巡視委託の減については、従前教育委員会事務局で管轄していた放課後児童クラブの見守り事業が、こども未来創造部に移管したことに伴うものである。【成果指標③】
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H29年度	H30年度	決算額(円)		
	①子ども情報ネット配信	メール登録者数	人	865	934	H29	64,800	H30
②子ども見まもり隊	見まもり隊登録人数(累積人数)	人	504	528	H29	0	H30	0
③巡視委託	巡視回数(小・中学校年間合計・延べ回数)	回	5,429	4,743	H29	6,089,233	H30	4,174,280
④青色防犯パトロール	パトロール回数	回	80	94	H29	0	H30	0

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「子ども見まもり隊」の協力団体や地域による参加率等の温度差。 ②登下校時の児童生徒の安全確保はもとより、危険度の高い交差点(勢野北地区等)における「子ども見まもり隊」及び地域や関係機関等のボランティアの安全確保。 ③「子ども見まもり隊」の登録には傷害保険の加入に伴うため、実状に即した登録者名簿の整理が必要。 <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①通学路における危険箇所(ブロック塀・交通事故発生エリア等)の把握。
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「子ども見まもり隊」については、学期ごとの活動報告と活動目的を関係会議において周知するとともに、自治会等に対する協力を依頼した。また、昨今の子どもを巻き込む事件・事故の増加により、全国的に地域の子どもの守る意識の向上が見られることから、登録人数が増加している。しかしながら、全地域における見守りの更なる強化が必要であることから、登録も含め、今後もSNS等を利用して「ながら見守り」等の協力についても啓発を推進する。 ②児童生徒の通学時ではもとより、ボランティアにおいても安全に見守り活動ができるよう、特に通行量の多い通学路等において警察に協力を求め、ドライバーに注意喚起を行うとともに、特に危険な交差点において信号設置の検討を依頼した。 ③「子ども見まもり隊」の実働状況を把握するため、登録者名簿の提出を求めるなど、地域に働きかけを行った。 <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①教育委員会が主となり、学校・警察・交通安全協会及び役場関係課が合同で通学路合同点検を定期的を実施できる体制作りを検討する。また、交通量の多い道路の通行制限や信号設置に向けた検討を実施。
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <p>すべての事業において、地域住民、町行政及び関係機関との連携を強化。地域全体で更なる危機感を持ち、防犯意識の向上を図るため、地域の協力を求め「犯罪被害者を生まない町づくり」の基盤強化につながる事業を展開する。併せて「子ども見まもり隊」の名簿整理及び更新を実施するとともに、見守り活動実施状況の把握に努める。</p>

平成30年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑨学校給食体制の整備	担当課名	給食センター (教育総務課)	教育大綱位置づけ	1「子育てなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校給食衛生管理基準」に基づき、学校給食における衛生管理の徹底を図ります。 ・「食育」の一環として、学校・幼稚園における給食指導を継続します。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○安全安心な学校給食 <ul style="list-style-type: none"> ・職場の衛生管理及び職員の健康管理等を行うとともに、安全安心な給食材料を使用する。 ・栄養管理職員の資質向上を図るため、県の調理員研修会に参加する。 ○食育・地産地消の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、食事を通して自らの健康管理ができるようにするために、食の指導の充実を図る。 ・農業委員会の指導及び協力を得て、食育の面も含めて「教育ファーム実践事業」を推進するとともに、信貴山のどか村の協力も得て、町内産の食材を使用することにより地産地消の推進を図る。 ○給食センターの運営方法 <ul style="list-style-type: none"> ・給食センターの調理・配送等の業務については業者に委託し、きめ細かな食物アレルギー対応等、安全安心な給食の提供に努めている。 ○放射能測定器による食材検査 <ul style="list-style-type: none"> ・安全な食材を使用した給食を提供するため、国の原子力災害対策本部指定の出荷制限対象となる17都県を産地とする食材について引き続き検査を実施。 また、食品中の放射性物質に係る国の検査基準値（一般食品は100Bq/kg以下、牛乳は50Bq/kg以下）をより厳格化し、本町の検査の測定下限値をすべて40Bq/kg以下と定め、測定下限値を超えた食材は使用しないことにより、安心・安全な給食の提供に努める。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○安全安心の学校給食 <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園及び小学校において保護者を対象とした給食試食会を実施したところ、223人が参加した。 ・安全・安心な学校給食を提供するため、できる限り国内産食材を使用し、また、地産地消の観点からも、県学校給食会推奨食品や信貴山のどか村の旬の野菜を積極的に使用した。 ・県が実施している調理員研修に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ① 学校給食衛生管理指導者実技講習会（7月26日(水)）参加人数：2人 ② 奈良県学校給食研究大会（8月22日(火)）参加人数：4人 ○食育・地産地消の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・食育については、各学校において作成した「食に関する指導」の全体計画をもとに実践。 ・生活科・家庭科や総合的な学習の時間における「食に関する指導」や給食に関わる指導を実施。 【内容】 <ul style="list-style-type: none"> ① 教科等授業時間数： 12時間 ② 給食指導時間数： 25時間 ③ 個別指導その他： 21時間 ・「食育推進事業」として、給食センター2階研修室において住民を対象に年間18回のクッキング教室を、また、学校給食を身近に感じていただくことを目的に住民給食試食会を延べ10日間実施した。 ・「教育ファーム実践事業」については、農業委員会の指導及び協力を得て、食育及び地産地消推進の観点から、例年実施している体験授業として各小学校児童が前年11月に作付けをしたタマネギを本年度の6月に収穫した。また、11月には次年度の収穫に向け、各小学校児童がタマネギの作付けを行った。 ○給食費の滞納状況 <ul style="list-style-type: none"> ・徴収業務として、文書による督促をはじめ、電話・家庭訪問による交渉を行い、滞納の解消に努めた。 【平成30年度末現在滞納状況】 <ul style="list-style-type: none"> ① 滞納額(平成21年度～平成29年度) 136,830円 (6人) ② 徴収額 25,000円 (2人) ③ 不納欠損額 18,242円 (1人) ④ 平成30年度末滞納額 93,588円 (4人) ⑤ 平成30年度分滞納額(現年度分) 8,400円 (1人) ☆ 平成30年度滞納額(合計) 101,988円 (5人) ○新給食センターの運営方法 <ul style="list-style-type: none"> ・給食センターにおける調理・配送等の業務は、公募型プロポーザル方式(企画提案方式)により業者選定し、現在、株式会社東洋食品に5ヵ年契約(平成30年8月1日から令和5年7月31日)で委託している。 ・食物アレルギー対応として、卵(鶏卵・うずら卵)・乳製品(牛乳・チーズ・ヨーグルト・バター)・エビ・カニのアレルギーについては、除去食により対応。また、卵・乳製品を含むデザートに対しては代替食により対応。なお、牛乳の除去・代替(緑茶・豆乳)については、保護者の意向に沿って対応している。 ○放射能測定器による食材検査 <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年3月1日より放射能検査測定器による食材検査を実施。
---------	---

【検査数】	1学期	117品
	2学期	183品
	3学期	98品
	合計検査数	398品

※放射性セシウム 不検出 すべて、40Bq/kg以下

【成果指標⑥】

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食試食会や食育指導事業を通じて、給食に対する関心を深めることができた。【成果指票①②】 給食費の滞納額は、平成30年度末時点で101,988円(滞納繰越分93,588円、現年度分8,400円)と、前年度比18,842円の減となった。 徴収については、保護者の経済的理由により納付困難なケースも考慮し、再三にわたる保護者との協議及び支払期限ごとの電話による確認作業や家庭訪問による交渉等を実施した。【成果指標③】 平成27年度の給食センターを建て替え以降、調理・配送等の業務を民間委託にしたことにより、高度な衛生管理の実現及び安全・安心な給食の提供が可能となったことに加え、調理員の資質向上を図ることができた。 また、食物アレルギー対応については、平成31年3月末時点で9名に対応しており、安全安心な学校給食の提供が図れている。 食育・地産地消の推進を図りつつ、安全安心な学校給食を提供できた。農業委員会や信貴山のどか村の協力により、少しずつ町内食材地産地消率の向上につながっている。 また、教育ファーム実践事業によるタマネギは、暑さ対策として保管施設に寒冷紗を設置したが、猛暑のためタマネギの収穫が激減したものの、給食食材使用量は前年度より増加した。【成果指標④】 食育推進事業「食育クッキング教室」を住民対象に開催することにより、食育の推進を図ると同時に、防災機能を有する「複合的施設」としての認知度を高めることができた。【成果指標⑤】
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H29年度	H30年度	決算額(円)
	①給食試食会	参加人数	人	208	223	H29 H30
②食育指導	延べクラス数	クラス	46	38	H29 H30	
③給食費の滞納整理	滞納者数(年度末)	人	7	5	H29 136,830(滞納額) H30 101,988(滞納額)	
④食育・地産地消の推進	町内食材地産地消率	%	2.34	2.36	H29 H30	
⑤食育推進事業(食育クッキング教室)	開催回数	回	18	28	H29 H30	
⑥食品放射能測定器による食材検査	年間検査数	品	259	398	H29 H30	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食費の徴収については、現年度分の未収額が年々減少はしているものの毎年発生している。また、過年度分未収額も減少できるよう、学校との連携を密にし、滞納者への交渉等をより一層強化する必要がある。 給食センター2階の調理室で実施する食育事業については、今後も年間20回程度の開催を目指して、積極的に実施する。 平成30年度の食育事業も、前年と同じ参加者が大半を占めていたことから、幅広いPR方法の工夫が必要である。
	<p>【新たな課題】</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食費の滞納整理については、今後も継続的に実施し、学校からの働きかけはもとより、給食センターからも定期的に保護者に交渉する。 食育事業の開催回数については、積極的なPRの結果、28回の開催となった。 参加者が固定化しつつある食育事業については、一人でも多く新規の参加者を獲得するための各学校・園の給食試食会等でもPRし、多方面からの協力を得ながら魅力ある食育クッキング教室を企画・開催する。
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input checked="" type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き地産地消の推進及び安全安心な学校給食の提供に努める。 給食費の滞納については、学校と連携・協力しながら、現年度分の未納解消に努め、今後も引き続き『滞納ゼロ』を目指して滞納処理に努める。 また、生活保護法及び破産法の規定により免責許可の決定がなされているなどの理由から、徴収の見込みがない給食費の滞納分については、「三郷町学校給食費の不納欠損処分要綱」により、不納欠損処分の手続きを行う。 教育ファーム実践事業の推進については、今後も農業委員会の指導及び協力を得ながらタマネギの作付けから収穫までを子どもたち自身が体験することで、改めて「食」について意識を高め、自然の恩恵や「食」に関わる人々の様々な活動への感謝の気持ちや理解を深める。また、子どもたちが自ら収穫したタマネギを給食食材として使用することにより、食育はもとより地産地消の推進にも繋げる。 毎日掲載している学校給食の献立をフェイスブックをより多くの方に見ていただけるようPRする。 食育事業については、町民を対象に食育クッキング教室を年間20回程度開催することを検討するとともに、町民を対象とした「給食試食会」の開催を引き続き実施する。 放射性物質測定検査については開始以来7年が経過するが、現在はいずれの食材も国の基準値以下であり、危険性が一定解消されているため、平成21年2月21日をもって終了とする。

平成30年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑩幼児教育の充実	担当課名	こども未来課 南畑幼稚園	教育大綱位置づけ	I「子育てなら三郷」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領に基づき、適切な教育課程の編成を行います。 ・幼児の心身の発達と義務教育及びその後の教育の基礎を培う幼児教育の充実に努めます。 ・地域に信頼される開かれた幼児教育を推進します。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児が、自然な生活の流れの中で直接的・具体的な体験を通して社会・文化・自然などに触れ、豊かな感性を育み、生きる力の基礎を培う環境づくりに努める。 ・幼児一人ひとりの特性に応じた発達の課題を見極め、個々の成長を援助し、幼児期に育むべきことを幼児期にふさわしい生活を通して育てることで、円滑に小学校へ移行できるようにする。 ・保護者や地域の方々に信頼される幼稚園を目指し、幼稚園の機能を活かして預かり保育や園庭開放・教育相談を行い、子育て支援に努める。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>○バザー及び模擬店（みなみはた祭）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA事業の一環として、PTA役員と園で協力体制・実施方法・改善方法を協議しながら、「みなみはた祭」を11月10日（土）に実施。 <p>○奈良県教育週間（11月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県幼児教育研究会による「子ども作品展」への出展。 ・地域に開かれた幼稚園づくりを目的として、教育講演会及び保護者が保育に参加する「幼稚園ウィーク」を開催。 <p>【内容】</p> <p style="padding-left: 20px;">11月 2日（金）・参観と教育講演会の開催。 自由遊びと朝の体操の様子を参観してもらった後、講演会を行った。 演題：食の大切さを考えよう！～好き嫌いをなくすちょっとした工夫～ 講師：畿央大学健康科学部健康栄養学科 教授 上地 加容子さん</p> <p style="padding-left: 20px;">11月14日（水）・保護者参加型のクラス行事を実施。3歳児・・・信貴山朝護孫子寺散策 4歳児・・・運動遊び 5歳児・・・けん玉作り</p> <p>○特別支援教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要とする園児の教育支援計画及び個別指導計画を作成し、保護者や関係機関との連携に努めた。 また、職員のスキルアップや幼児理解を深めることを目的として、県の子ども地域支援事業を利用し、巡回アドバイザーによる園内研修を実施。 <p>○食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月2回、「手作り弁当日」を設定し、保護者に食育の大切さを考えてもらう機会とすることにより、食育の推進を図った。 ・保護者を対象に多目的ホールにて学校給食センターの栄養士による「食育に関する講演会」を開催し、併せて親子給食を栄養士同席で実施。親子で給食を食べながら教員や栄養士と食について話をする機会となった。 <p><実施日> 10月12日（金）：3歳児もも組 9月26日（水）：4歳児うめ組 9月27日（木）：5歳児さくら組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5歳児を中心に園内菜園を行い、収穫した野菜などを使ってカレー作りを6月15日（金）に実施。地域の方の協力を得て菊堀りを体験し、収穫した菊の調理をはじめ、栗、梅の実、柿など、園内で実った果実を自分たちで収穫し、味わい、身近な食材に接する機会を多く持つようにした。 <p>○子育て支援及び預かり保育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育終了後に園庭を開放して、保護者と園が園児の成長を共有し、保育内容に対する理解を深めるとともに、家庭教育の啓発や子育て相談を行う「にこにこランド」を年間6回実施。 ・家族の通院や介護、兄や姉の授業参観等のほか、保護者の就労時間や各家庭の諸事情により、緊急又は臨時的に降園時刻以降の保育が必要が生じた場合に、できる限り対応し、預かり保育を行った。 <p>○ALTとの交流（年間8回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年中～年長児が歌や遊びなどを通じて外国語や異文化に触れ、コミュニケーションの楽しさを感じることができる「ALTとの交流」を実施。（年中3回・年長5回）
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年に1回行っている保護者へのアンケート及び教員の自己評価より、『幼児の姿、成長、課題を保護者と共有し、保護者との信頼関係の構築に努めている』の項目での教員の自己評価は高めであるが、子育て支援、預かり保育に係る『カウンセリングの基礎理解と相談機能向上に努めている』については低めである。 ・経験年数の短い教員が多いので、保護者との信頼関係の構築に努めたが、スキル不足を感じているのが現状である。保護者の『職員は、子育てについて親身になり、相談しやすい雰囲気がある』という項目での評価は低いことから、カウンセリング技術等のスキルアップが必要であると考えられる。また、保護者と園との交流の場ともなる「にこにこランド」の参加率の伸び悩みにも影響しているものと考えられる。 ・預かり保育については、平成29年度と同様、母親が就労している家庭の利用が多かった。 ・園内研修での物的資源としての自然環境をどのように活用しているかを教員で話し合い、様々な活用を行っていることに気づいた。今後は計画的に保育に取り入れて自然環境を生かした保育をしていきたいと考える。 ・年間を通して保育園や小学校との交流を行うことができた。しかし「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を生かした教員間の交流まで深めることは難しかった。 ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえて、各行事について検討を行った。また、年度末には1年の総括として育った力と育てたい力を話し合った。その結果を教育課程の見直しに活かすことができたので、今後も適切なカリキュラムマネジメントを行う必要がある。
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H29年度	H30年度	決算額(円)
	①預かり保育		実施回数	回	269	272
②園庭開放「にこにこランド」		実施回数/参加家庭数	回/家庭	6/243(家庭)	6/222(家庭)	H29 H30

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①子育て相談や保育内容の理解、また、家庭教育啓発のために保護者と連携できる関係性を築く。 ②「幼児期の終わりまでに育ってほしい力」について保育園とも情報を共有しつつ、就学前教育の充実に向けた保幼小の連携体制づくり。 ③教育課程に基づいた組織的・計画的な教育活動の質の向上。 <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①幼児理解を深めるための保育の記録の活用。 ②PTA活動の内容と在り方の見直し。
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①親子行事等の機会や電話連絡・家庭訪問など、教員自らが保護者との積極的なコミュニケーションに努めるとともに、全教員による個々の事案に対するケース会議及びカウンセリング研修等の参加により教員のスキルアップを図る。 ②引き続き年長児の保幼交流会を通して、引き続き教員同士が子どもの育ちや課題について意見交換できる機会を持つとともに、公開保育や園内研修等に教員が互いに参加しあえるようにする。また、小学校教員の参加も検討し、更なる保幼小の連携を充実させる。 ③全教職員の協力体制の下、教育課程の実施状況を評価し、改善を図り、教育活動の質の向上を図る。また、日々の保育指導計画の評価及び改善や子どもの姿の捉えを教育課程の改善に活かすように検討する。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①日々の保育の記録をとり、複数の教員で多面的に幼児を捉えるために研修への参加及び園内研修の実施。 ②PTAの会議等に管理職が積極的に参加し、役員との連携をより密にしながら、PTA役員の負担軽減を図る。
------------	--

6 今後の計画・方向性(PPLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・今後も地域や保護者から信頼される幼稚園を目指し、保護者を対象に実施している「園の評価」及び教員の自己評価の結果を基に、更なる教職員の資質向上と教育内容の充実を図る。また、各方面からの情報収集を行い、教職員のスキルアップのため、各種研修への積極的な参加を促すとともに、園内研修や検討会等の機会を積極的に利用し、教職員間の共通理解や連携を図る。</p>		

平成30年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑪生涯学習の推進	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・時代に即応した町独自の学習の企画・開発に努め、より多様で充実した学習機会の提供を進めます。 ・知識・経験をもった人材が生涯学習に活躍できるよう、各種講座へのボランティア派遣制度の構築を図ります。 ・各種団体、学校、企業などの協力を得ながら、住民ニーズに合った学習講座の開催と様々な情報提供システムの構築を図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○学習基盤の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が主体的な活動により、心身ともに健康で豊かな人生を送ることができるよう、多様な分野での学習活動の場を提供する。 ○地域住民等の人材の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施に伴い、活動を担う指導者やボランティアの育成を図り、地域住民等の人材を活用するとともに、その団体やグループに支援を行う。 ○各種学級事業 <ul style="list-style-type: none"> ・自主的な学習を支援するため、学習に必要な講師等を招き、住民ニーズに応じた各種学級を開講する。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○学習基盤の整備 社会情勢や住民ニーズを取り入れ、時代に沿った学習内容とする。						
	○各種学級の運営状況						
	学級名	目的	事業内容	平成29年度		平成30年度	
				学級生数	開催回数	学級生数	開催回数
	家庭教育学級	家庭教育の重要性や役割を認識し、子育てやそのあり方について学びつつ保護者同士のネットワーク機能を充実させるとともに、自らを振り返り、様々なことを学習する場を提供することで、安定した明るい家庭づくりを図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・健康学習（ヨガ・フラ） ・創作（ハーブ・寄せ植え・珈琲） ・教養講座（コミュニケーション・マナー・子育て心理）等 	32人	11回	33人	11回
	長寿学級	熟年者として、時代の流れに対応できる生き方・暮らし方を探求し、自主的・意欲的な学習活動を通じて、生き甲斐を感じ取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会見学 ・健康体操 ・音楽鑑賞 ・講演等 	78人	11回	57人	11回
	くれない学級	教養を高め、自主的・意欲的な学習活動を行い、女性としての生き甲斐を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・歩く会（五條市） ・体操 ・創作 ・社会見学 ・講演等 	52人	11回	57人	11回
歴史教養講座	身近な歴史とふれあい、個々の知識を深め心豊かにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・現地学習4回（伏見稲荷大社等） ・講義6回（「仏像とは何か」等） 	55人	13回	49人	13回	
みさと万葉学習会	万葉集の学習を通じ、知識を深めるとともに町の歴史と文化についても関心をもち心豊かにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・現地学習3回（福井県若狭町等） ・講義7回（奈良女子大 奥村和美先生等） 	78人	14回	77人	14回	
※5学級合同学習会：7月14日（土）「人権学習会」、10月27日（土）「教育講演会」、2月23日（土）「健康福祉学習会」を開催。							

4 点検評価・課題(CHECK)

<p>①達成度(成果)の分析</p>	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○各種学習の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習学級として「家庭教育学級」「長寿学級」「くれない学級」「歴史教養講座」「みさと万葉学習会」の5学級を開催し、延べ273名で前年より22名の減となり、ここ数年減少傾向にある。特に、長寿学級は高齢化が進んでいることが要因と考えられる。【成果指標①】 ・各学級の運営は各運営委員会により事業内容等を検討するなど、学級の自主的な運営を実施。 ・学習内容について、希望の講義や課題の把握のため、学級受講者にアンケートを実施した。 <p>○地域住民等の人材の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学級の講師には、文化教室や各施設のボランティア団体等を活用し、地域の活性化を図るとともに、町外の講師も招き、内容の充実に努めた。また、奈良県登録の講師や他機関の人材も活用した。 																																																																																																																																																																																									
<p>②成果指標</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>成果指標名</th> <th>単位</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>決算額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①生涯学習学級</td> <td rowspan="2">登録者数</td> <td rowspan="2">人</td> <td rowspan="2">295</td> <td rowspan="2">273</td> <td>H29 810,518</td> </tr> <tr> <td>H30 747,416</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	事業名	成果指標名	単位	H29年度	H30年度	決算額(円)	①生涯学習学級	登録者数	人	295	273	H29 810,518	H30 747,416																									<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>成果指標名</th> <th>単位</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>決算額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	事業名	成果指標名	単位	H29年度	H30年度	決算額(円)																															<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>成果指標名</th> <th>単位</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>決算額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	事業名	成果指標名	単位	H29年度	H30年度	決算額(円)																															<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>成果指標名</th> <th>単位</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>決算額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	事業名	成果指標名	単位	H29年度	H30年度	決算額(円)																															<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>成果指標名</th> <th>単位</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>決算額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	事業名	成果指標名	単位	H29年度	H30年度	決算額(円)																														
事業名	成果指標名	単位	H29年度	H30年度	決算額(円)																																																																																																																																																																																					
①生涯学習学級	登録者数	人	295	273	H29 810,518																																																																																																																																																																																					
					H30 747,416																																																																																																																																																																																					
事業名	成果指標名	単位	H29年度	H30年度	決算額(円)																																																																																																																																																																																					
事業名	成果指標名	単位	H29年度	H30年度	決算額(円)																																																																																																																																																																																					
事業名	成果指標名	単位	H29年度	H30年度	決算額(円)																																																																																																																																																																																					
事業名	成果指標名	単位	H29年度	H30年度	決算額(円)																																																																																																																																																																																					
<p>③事業の課題</p>	<p>【継続的な課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①生涯学習の各学級は、受講者には人気があることから例年同内容で継続しているが、社会情勢や住民ニーズを的確に捉えながら内容の刷新を図ることが必要である。 ②各学級生の高齢化や学級の地区役員が担当する地区の広さから、役員にこれまでと同様の役割や負担を求めることが難しくなっている。 ③学級生の全体の数が減少している。 <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①現地学習・社会見学などの行事は人気があるが、バス代の高騰や学級生の減少に伴い、1人あたりの参加費が年々高くなっている。今後は消費税の増税の影響も受け、学級生の負担が大きくなる。 																																																																																																																																																																																									

5 改善方法・結果(ACTION)

<p>課題の改善方法・結果</p>	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①学級の内容については、アンケート等を利用して学級生のニーズを確認し、現行の体制を継続している。今後は飽きがないように工夫が必要である。 ②「各学級生による自主運営」という原則から逸脱しない範囲で事務局も協力し、学級役員の負担軽減を図る。 ③平成30年度も学級生の数が減少したので、広報の掲載方法を工夫するとともに、口コミによる増加を目指し、学級生に学級への勧誘を依頼する。 <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①平成31年度予算に各学級1回のバス代を計上することにより、学級生の負担を軽減することで、口コミによる学級生の増加に繋げたい。
-------------------	--

6 今後の計画・方向性(PPLAN)

<p>事業の計画・今後の方向性</p>	<p><input type="checkbox"/>現状維持 ※事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>見直し (内容) <input checked="" type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民が主体的に学習できる学級運営を行う。 ・地域の社会資源を掘り起こし活用する。 ・社会の変化に合った学習内容とする。 ・学級生の減少の流れをとめ、増加に努める。
---------------------	--

平成30年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑫青少年の健全育成	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	・児童・生徒の健全育成のため、問題行動の解決に向けた地域ぐるみの取り組みを推進するとともに、関係機関と連携し、早期発見・早期指導の体制充実を図ります。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>○青少年育成三郷町民会議</p> <p>・青少年問題の重要性に鑑み、関係機関および団体の緊密な協力により、広く町民の総意を結集し、次代を担う青少年の育成を図る。</p> <p>①ふれあいのつどい</p> <p>・家族・地域社会等のふれあいを築くことを目的に開催する。</p> <p>②教育講演会</p> <p>・次代を担う青少年の育成を図ることを目的として講演会を開催する。</p> <p>③問題行動等防止</p> <p>・巡回指導の実施及び関係団体の協力のもと、夏休み・春休みに町内の巡視を行う。</p> <p>○成人式</p> <p>・新成人の門出を祝福するため「成人式」を開催する。多くの新成人に参加してもらえるように努める。</p>
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>○青少年育成三郷町民会議</p> <p>①指導推進部会</p> <p>・幼保小中高の子どもたちの様子や長期休業期間の生活の様子などについて学期毎に意見交換を行い、情報を共有し、各学校園において児童生徒等の指導に当たった。また、情報を共有することにより、学校のみならず、町全体の問題として地域の理解が深められ、学校、保護者、地域、関係機関等の連携強化を図った。</p> <p>②調査研究部会</p> <p>・本年度は「発達障がい」をテーマに講演会を開催。より理解を深めるために、発達障がいの特徴を取り上げていき、一つ一つの対応の方法を検討した。その中で、周囲は悪いところを指摘するのではなく、できているところを褒め、自分の気持ちをしっかり言語化して伝えていく必要性を学んだ。</p> <p>期日 平成31年2月12日(火)</p> <p>場所 文化センター 音楽室</p> <p>講師 ハートランドしぎさん 子どもと大人の発達センター室長 宮崎 義博氏</p> <p>演題 「発達障がいの理解と支援」</p> <p>参加人数 33人</p> <p>③啓発促進部会</p> <p>・町民会議の各種事業に係るポスターの作成や広報、また「子ども・若者支援強調月間」のポスター募集等の啓発活動を展開した。</p> <p>④地域活動部会</p> <p>・「ふれあいのつどい」開催に係る内容・役割分担等、関係機関と協議及び連携し、事業を実施した。</p> <p>⑤関係機関との連携</p> <p>・「三郷町要保護児童対策地域協議会」や「定例人推連絡会」と連携を図り、幼児・児童・生徒が置かれている現状を共通認識し、青少年の育成を図った。</p> <p>○教育講演会</p> <p>期日 平成30年10月27日(土)</p> <p>場所 文化ホール</p> <p>講師 大儀見 浩介氏</p> <p>演題 「モチベーション」～毎日の生活の向上を目指して～</p> <p>参加人数 156人</p> <p>○ふれあいのつどい</p> <p>・参加家族全員で野外炊飯・味覚狩り・ゲーム等を楽しみながら、子ども同士・保護者同士のつながりを築くことができた。</p> <p>期日 平成30年11月4日(日) 場所 農業公園信貴山のどか村</p> <p>参加人数 小学生 56人・5歳児 7人・5歳児未満 16人・保護者 59人 合計 138人</p> <p>○問題行動等防止</p> <p>・巡回補導(生駒郡4町合同で実施)</p> <p>実施日:平成30年11月13日(火)</p> <p>・巡視活動</p> <p>関係機関の協力のもと、学校の長期休業期間に公用車による町内巡視(13回)を実施。</p> <p>(巡視時間 20時～21時)</p> <p>実施日:夏休み期間 7月24日(火)26日(木)31日(火)</p> <p>8月2日(木)7日(火)9日(木)21日(火)23日(木)28日(火)</p> <p>春休み期間 3月26日(火)27日(水)28日(木)29日(金)</p> <p>○成人式</p> <p>・三郷町文化センター及び三郷町スポーツセンターにおいて実施。</p> <p>期日:平成31年1月13日(日)</p> <p>参加人数:174人(参加率68.0%)</p>
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>○青少年育成三郷町民会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の問題行動について定例人推連絡会議や突発的な事案に対し、町行政と教員・家庭・地域の間で緊急協議を実施。青少年の真の問題点の把握・分析を行い、各関係機関と密接な連携を図ることで、各部会の活動を計画どおり実施し、青少年の育成を図った。 <p>○ふれあいのつどい</p> <p>期日：平成30年11月4日（日）参加人数：138人 今年度も定員を超える申し込みがあり、多くの保護者・子ども相互の交流が図れた。【成果指標①】</p> <p>○教育講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の参加者223人から今年度は156人に減少した。前年度は音楽・プラネタリウム等親子で楽しめる講演内容であったため参加者が多かった。今後は集客力も視野に入れた企画を行っていきたい。【成果指標②】 <p>○問題行動等防止巡視</p> <ul style="list-style-type: none"> ・13回の夜間巡視活動を行い、役場横高架下でのたむろる行為やとっくり湖での釣りを確認したが、問題行動等に遭遇する機会は減少した。今後も引き続き西和警察署と連携し、巡視を継続していく。【成果指標③】 また併せて、三郷町要保護児童対策地域協議会や地域・学校等との連携を図り、問題行動等の指導にあたる。 <p>○成人式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者256人のうち参加者が174人で、参加率は前年度66.4%から本年度は68.0%と1.6ポイント増加した。今後も引き続き7割以上の参加率の確保に努める。【成果指標④】 <p>※青少年の育成については、単純に分析することは困難であるが、年々、家庭・学校・地域・行政の協働と連携の強化は図られている。今後も早期発見、的確な助言及び指導を通じて問題行動等の未然防止及び問題解決に努める。</p>
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H29年度	H30年度	決算額(円)	
	①ふれあいのつどい	参加人数	人	134	138	H29	966,095
②教育講演会	参加人数	人	223	156	H30	920,533	
③問題行動等防止巡視	巡視回数	回	13	13			
④成人式	参加率	%	66.4	68.0	H29	263,021	
					H30	320,414	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①問題行動等防止巡視</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡視において青少年に対する指導を行うが、補導等の権限がないことから警察との連携が必要である。 <p>【新たな課題】</p> <p>①民法改正に伴い、成人年齢が令和4年4月1日から18歳に変更になり、改正直後の成人式は18～20歳が一斉に成人の対象となるため、当該年度の成人式の挙行方法等について検討が必要である。</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①昨年度に引き続き所轄の警察署に巡視時の同行を依頼したが、平成30年度は警察の都合により協力を得ることができなかった。来年度は、協力を得よう積極的に働きかけていく。 なお、同町民会議委員でもある少年補導員や青少年指導員については、13回の問題行動等巡視活動に例年通り同行の協力を得ることができた。</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①令和4年度の成人式は対象者が激増することから、会場の収容人数の問題もあり、挙行の方法を検討する必要がある。また、例年通りの1月開催では、大学受験や就職活動の時期と重なる対象者も多いため、参加者の極端な減も予想されることから、開催時期の検討も要する。 なお、「20歳を祝う成人の集い」など、今までどおり20歳のみを対象として実施を決定した自治体もあることから、他の自治体の動向も参考にしながら検討する。</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・青少年の育成には地域の協力が必要不可欠であることから、今後も関係機関等と連携を密に図り、協力を求めながら取り組む。</p> <p>・成人式については、開催方法など、法改正に伴う課題はあるが、地域で成人の門出を祝うための式の挙行に向けて、検討を重ねていく。</p>		

平成30年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑬人権教育・啓発の推進	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の自発的な啓発活動を促進するため、情報や学習機会の提供などの支援を強化するとともに、学校教育や社会教育を通じて人権教育の内容の充実を図ります。 ・行政、関係機関・団体等の連携によって、住民の立場に立った、利用しやすい人権相談窓口と体制の充実を図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○識字学級 <ul style="list-style-type: none"> ・教育を受ける権利を保障されなかった方に、文字などを学習する機会を提供する。 ○人権教育地区別懇談会 <ul style="list-style-type: none"> ・暮らしの中にある疑問や不合理などを話し合い、人権問題を身近な課題として捉え、人権確立を図る。 ○人権問題学習セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育の推進を図るための人権問題学習セミナーを実施する。 ○人権に関わる相談や対応 <ul style="list-style-type: none"> ・人権に関わる相談や人権侵害事象に対応するため、関係機関と連携を図りながら問題解決を行う。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○識字学級 <ul style="list-style-type: none"> ・毎週月・木曜日の午後3時より学級を実施している。唯一の学級生が高齢と健康上の理由により平成28年7月以降休講していたが、平成30年11月から再開。 登録者数：1人 学習内容：文字の練習、数字の計算等 ○人権教育地区別懇談会 <ul style="list-style-type: none"> ・「インターネットと人権侵害」をテーマとして、15会場で開催。 インターネットを悪用した部落地名総監の存在や差別書き込みが依然として続くなど、一瞬にして多くの人に広まる人権侵害や誤った内容、差別を助長・扇動するような情報操作など、深刻な問題となっている。こうした行為を見逃さない感性やそれを回避する力、人権尊重の視点で情報を読み、活用する力を身につけることの大切性を学んだ。 延べ参加人数：580人 ○人権問題学習セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・3回の講演と2回の現地学習を実施。 【講演】 <ul style="list-style-type: none"> (1回目) 期日：平成30年7月17日(火) 場所：図書館 視聴覚室 講師：大和郡山市立郡山南小学校 校長 廣岡 伸祐氏 演題：「わたしと人権教育」 (2回目) 期日：平成30年8月21日(火) 場所：図書館 視聴覚室 講師：大阪芸術大学 北口 学氏 演題：「インターネットと人権侵害」について (3回目) 期日：平成30年9月13日(木) 場所：図書館 視聴覚室 講師：奈良県同和問題史料センター 所長 奥本 武裕氏 演題：「人権三法について」 【現地学習】 <ul style="list-style-type: none"> (1回目) 期日：平成30年10月19日(金) 場所：奈良市 内容：「なら楽学遊歩」ならまち人権スポット散策 他 (2回目) 期日：平成30年11月8日(木) 場所：堺市 内容：「堺市 舳松人権歴史館 大仙古墳」 延べ参加人数：425人 ○人権に関わる相談や対応 <ul style="list-style-type: none"> ・人権問題啓発活動推進本部、人権教育推進協議会などの関係機関と連携を図り、「第30回人権を確かめあう日 県内一斉集会」、「差別をなくす町民集会」などの人権に関わる事業を開催。 ・随時人権相談に応じるとともに、三郷町要保護児童対策地域協議会などとも連携を図り、諸問題の解決にあたった。
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○識字学級 ・平成28年7月以降受講者の都合により休講していたが、平成30年11月から再開できた。【成果指標①】</p> <p>○人権教育地区別懇談会 ・今年度も500名を超える参加者があった。今年度も本町における身近な人権問題をテーマに掲げ、住民の方々に学習の場を提供することができた。【成果指標②】</p> <p>○人権問題学習セミナー ・今年も「人権教育」「インターネット」「人権三法」といった様々なテーマを取り上げ、多くの参加者のもと人権問題に係る講演・学習を開催した。【成果指標③】</p> <p>○人権に関する相談や対応 ・関係機関と連携を図りながら随時対応できる体制を整えた。</p>
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H29年度	H30年度	決算額(円)
	①識字学級	実施回数	回	0	13	H29 0 H30 1,960
②人権教育地区別懇談会	参加者数	人	579	580	H29 208,760 H30 363,271	
③人権問題学習セミナー	参加者数	人	427	425	H29 368,500 H30 374,260	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①人権教育地区別懇談会については、ここ数年、一定の参加者はあるものの、大部分の地域で参加者の固定化、高齢化といった課題を抱えている。</p> <p>②人権教育地区別懇談会を15会場において自治連合会等单位で実施しているが、それぞれの地域住民の世代構成の違い等が顕著になってきていることから、幅広い世代に対応できる共通テーマの検討が必要である。</p> <p>③識字学級の休講。</p> <p>【新たな課題】</p> <p>①人権三法（部落差別解消法、障害者差別解消推進法、ヘイトスピーチ解消推進法）の啓発に加え、LGBT、発達障がい、インターネットなど多様化する様々な問題の人権教育。</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①人権教育地区別懇談会については、参加者のニーズを十分把握するとともに、実施に当たっては各自治（連合）会長と綿密な連携を図りながら協力して進めていく。</p> <p>②人権教育地区別懇談会について、開催時に実施している参加者のアンケートや総括会議等での意見も参考にしながら、計画立案していく。</p> <p>③識字学級を平成30年11月から再開した。また新規入級者の募集に努めた結果、令和元年度は2名の入級があり、学級生が3名に増えた。</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①人権問題学習セミナーで、テーマを毎年工夫しながら様々な人権問題への学習を行っている。今年度から職員も参加することになり、より一層の人権教育の推進を図る。</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・人権は誰もが持っている普遍的な権利であり、人権が尊重される地域社会を目指すため、情報や学習機会の提供を図るとともに、今後も人権相談等の体制を充実する。</p>		

平成30年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑭文化センターの充実	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	・講座修了のグループが、個々の活動を自主的に展開できるよう、コーディネート体制の確保を図ります。 ・施設の有効利用を図るため、使用料の設定など、運営の改善に努めます。 ・施設の機能向上を図るため、利用者のニーズにあった改修を計画的に進めます。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	○グループ活動の支援 ・自主的な文化活動を行うグループなどに対し、有意義な活動ができるよう支援を行う。 ○各種講座の開設 ・文化センターにおいて、町民の芸術文化に対する関心を高めてもらうため、文化講座、健康講座等を実施。 ○指定管理者制度の活用 ・民間の経営や事業展開のノウハウを活用し、より充実した施設管理を行うため、公益財団法人三郷町文化振興財団を指定管理者に指定することにより当該財団の自主事業との相乗効果が期待できる。	想定事業を参考に、事業をピックアップし、その目的と概要について簡潔に記入すること。
---------	--	---

3 事業実績・結果(DO)

No.	講座名	内 容	延べ受講者数	
			平成29年度	平成30年度
			[単位/人]	
1	布あそびと着物リフォーム	家にある和布を用いて、服のリフォームや、小物、季節物も制作します。	139	49
2	声楽教室	発声練習と親しみやすい日本歌曲を歌います。	90	150
3	カラオケ教室	受講生の個性を伸ばして、楽しい歌唱の時間をもちます。	-	78
4	楽しく学ぶ音楽講座	サクソ奏者の講師が、音楽にまつわる様々な話題を、演奏を交えながら、楽しく紹介します。	-	28
5	はじめての英会話	基礎から簡単な日常会話まで楽しくレッスンします。	155	-
6	はじめての中国語	中国語の発音を正しく身につけて、日常会話を習得します。	79	-
7	ストレッチフラダンス(女性専科)	自然賛歌を全身で表現、心と体を癒します。	69	96
8	ハーバリウム作成体験	ガラスボトルにお花や専用オイルを詰めて、世界にひとつだけのインテリア雑貨を作りましょう。	-	34
9	寄せ植え教室	初心者の園芸のコツと、四季に応じた寄せ植えを実習します。	122	86
10	お手軽クッキング(男子専科)	料理、始めてみませんか?作る楽しさ、味わいます。	44	-
11	似顔絵教室	似顔絵を描くことで、人物の個性や表情のおもしろさを絵で表現しましょう。	-	53
12	子どもICT講座	プログラミングアプリ「スクラッチ」を使い、ゲームを作りながら楽しく学びます。	53	-
13	絵画教室(クロッキー・写生)	芸術で自分を表現する「コツ」をご指導いたします。クロッキーで全体をとらえる練習もします。	-	63
14	ツボ療法	からだの不調の原因はツボに表れます。ツボを知れば自分の体調管理ができます。	123	46
15	入門太極拳	「入門太極拳」の8つの動作を学びます。	76	-
16	ゆる体換初級	固まった身体をゆるりとほぐして血行を促します。	66	69
17	ウクレレ教室	初心者対象。ウクレレで弾き語りができるよう練習します。	35	-
18	四季を描く水彩画	花・果物・野菜をデッサンから着彩し、仕上げます。	94	-
19	ペン字・筆ペンレッスン	季節のお便りや慶弔の表書きなど日常生活に必ず役立ちます。	73	181
20	イタリアンクッキング	パスタ・ニョッキ・肉・魚料理やドルチェを楽しくクッキング!	49	-
21	ハンゲル入門	読み書きを中心に、会話も取り入れながら学びます。	73	85
22	楽しいお琴教室 和音I	会派、レベルに関係なく、椅子に座って学びます。	22	-
23	折り紙教室	季節に応じたブローチ、小物(箱等)、くす玉等を仕上げます。	73	43
24	ちぎり絵教室	手先を使ってちぎりながら、手漉きの和紙を色紙に貼りつけます。	39	-
25	健康まあじゃん	「飲まない、吸わない、賭けない」健康まあじゃんで脳トレと友達作りを。	-	314
26	囲碁入門教室	囲碁の打ち方、ルール及び実践と共に、碁に関連する歴史も文芸も学びます。	-	63
27	はじめての箏曲	椅子に座ってお稽古します。お箏も深い音色を体感してください。	-	12
28	気軽に楽しむ和食の作法	和食の盛りつけやお箸の使い方を実践しながら、美しい和食の作法を身につけましょう	-	15
29	アクリル(油彩) 絵画教室	芸術で自分を表現する「コツ」を知り、楽しく自分の可能性に挑戦します。	29	-
30	整理・収納入門	片付けが苦手な人もそうでない人も、「コツ」を知り、快適空間づくりを実践します。	103	58
31	江戸浄瑠璃清元教室	三味線の音色に合わせて唄い、伝統芸能を体験、再認識します。	18	-
32	着付け入門	浴衣から外出着まで、初歩から紐のみで着付けを学びます。	72	57
33	俳句教室	三郷町の豊かな自然の中で季節(季語)にふれ、俳句を楽しみます。	56	42
34	川柳教室	川柳を通して、脳トレと感性を磨きます。	44	36
合 計			1,796	1,658
○文化センター利用率				
		平成29年度	平成30年度	
	・文化ホール	17.6%	17.9%	
	・展示ホール・ロビー	26.4%	27.8%	
	・会議室・研修室・音楽室	38.3%	39.5%	
	・創作室・和室・茶室・視聴覚室	22.1%	23.3%	
	・その他(リハーサル室ほか)	34.3%	35.6%	
	合 計	29.6%	28.8%	
○文化センター改修(主な改修)				
	・地下排水ポンプ修繕・揚水ポンプ取替	34,560,000円		
	・地下排水ポンプ遠隔操作盤設置	1,620,000円		
	・休憩室空調機器取替	805,000円		

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○文化講座・健康講座 ・平成30年度は、新規の9講座を加え受講者の募集を行い、22講座を開講。講座数は、平成29年度から3講座減で、延べ受講者数は平成29年度の1,796名から1,658名となり、前年度に比べ138名の減となった。講座数、受講者数は減少したが、平成30年度の新規の「健康まあじゃん」は大人気の講座となり、講座修了後も元受講者によるクラブ活動として継続している。その他「川柳教室」もクラブ活動に移行するなど、文化講座から自主的な活動に継続した展開ができています。今後も魅力ある講座を開講していきたい。【成果指標①】</p> <p>○文化センター利用状況 ・利用者数の把握が難しい施設もあることから、利用率（年間：各施設利用日数÷開館日数）により評価を行う。平成29年度と比較すると、施設により増減のバラツキがあるものの、全館の利用率としては前年度に比べ多少の減ではあるが、ほぼ同率となった。【成果指標②】</p>
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H29年度	H30年度	決算額(円)
	①文化講座※		参加者数	人	1,796	1,658
②文化センター (決算額は指定管理委託料)		利用率	%	29.6	28.8	H29: 38,018,392 / H30: 40,000,424

※各教室開催経費は指定管理委託料に含まれている。

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①施設の維持管理 ・経年劣化による不具合や故障が頻発しており、計画的に改修する必要がある。</p> <p>②文化講座の受講生の減少。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①調理室など特定の用途のための部屋において利用率が非常に低い部屋がある。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①施設の修繕については、緊急性を勘案しながら計画的に改修する。今後は令和2年度に長寿命化計画を立ててそれに基づき修繕を行っていく。</p> <p>②平成30年度、新規で開設した「健康まあじゃん」が人気の講座となったものの、文化講座全体の受講生の減少は食い止めることができなかった。今後もニーズを的確にとらえ、魅力ある講座を開講することにより受講生減少に歯止めをかけたい。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①特定の用途の部屋は専用設備を設置していることから、他の部屋に比べ部屋の広さから言えば若干使用料を高く設定しているが、他の用途（会議室など）でも利用しやすいように、同じ広さの部屋と同程度の使用料を設定するなど、使用料の見直しを検討している。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <p>・指定管理業務委託による一定の成果があることから、今後も教育委員会事業と文化振興財団事業の連携により、住民の自主的な文化活動の支援体制を強化する。</p> <p>・教室で学んだことを各方面で活かしていけるよう、受講生に対しボランティアバンクへの登録を斡旋する。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	

平成30年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑮文化活動への支援	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・文化活動団体について、地域の文化活動を支える方たちを掘り起こし、それぞれに魅力を持ちながら、会員の輪を広げていきます。 ・今後も、文化活動団体育成のための支援に努めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな分野から生涯学習の指導者等を掘り起こし、文化活動はもとより身近な生活課題や地域づくり等につながる学習活動の支援ができるシステムを構築する。 ○三郷町各種団体等運営補助金交付要綱に基づき、各種団体の活動及び運営に要する経費の一部を補助金として交付し、文化の振興及び向上を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ①三郷町文化協会 ②三郷町地域婦人団体連絡協議会 ③三郷町子ども会連合会 ④三郷町民文化祭実行委員会 ⑤三郷町芸術祭美術展実行委員会
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習の指導者等の活用支援 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の学級や子ども人権学習支援事業の講師等の選定に際し、地域の団体・個人と連携を図ることにより、継続した講師依頼はもとより、新たな指導者の掘り起こしができた。 ①家庭教育学級 8回（健康学習2回、創作3回、教養講座3回） ②長寿学級 5回（文化講演1回、健康体操2回、軽スポーツ、音楽鑑賞） ③くれない学級 6回（文化講演1回、健康体操2回、創作2回、音楽鑑賞） ④つながり学級〈三郷町子ども人権学習支援事業〉 7回（軽スポーツ、天体観測、ものづくり体験、凧作り・凧揚げ体験、ものづくり体験、お茶体験） ○団体への助成 <ul style="list-style-type: none"> ①三郷町文化協会（補助金額：670,000円） <ul style="list-style-type: none"> 主な事業：総会、文化協会まつり、人権学習会及び随時役員会を開催。 第50回三郷町民文化祭の運営協力をはじめ、各種研修会等を開催し、会員の知識の向上を図った。 ②三郷町地域婦人団体連絡協議会（補助金額：200,000円） <ul style="list-style-type: none"> 主な事業：総会、町の各事業への参加。また、老人福祉施設でのボランティア活動を実施。 ③三郷町子ども会連合会（補助金額：212,000円） <ul style="list-style-type: none"> 主な事業：総会や子ども会の日（8月8日（水））にプール遊び等を実施。その他、リーダー研修会、まぜこじりの会、どろんこあそびの会等を開催。 ④三郷町民文化祭実行委員会（補助金額：1,309,213円） <ul style="list-style-type: none"> 主な事業：展示・発表を合わせて74団体の参加のもと「第50回三郷町民文化祭」を10月27日（土）、28日（日）に、フリーマーケット、移動動物園等を併せて開催。展示会場には2日間で2,959人の来場者があり、前年に比べ1,126人の増。 ⑤三郷町芸術祭美術展実行委員会（補助金額：369,644円） <ul style="list-style-type: none"> 主な事業：「第31回三郷町芸術祭美術展」を9月6日（木）～9月9日（日）に開催。198点の作品が出展され、開催期間中928人の来場者があった。
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習の指導者等の活用支援 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習を行う機会において、地域の指導者の協力を得て実施することで、より活発な活動ができた。 ○団体への助成 <ul style="list-style-type: none"> ・文化の振興、芸術の向上に寄与するため、各種団体に補助金を交付し活性化を図った。【成果指標①】 ○三郷町民文化祭実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年10月27日(土)28日(日)に三郷町文化祭を実施。三郷町民の積極的な参加を促し、74団体による展示・発表を行い、展示会場の来場者は2,959人。前年度は悪天候の影響があり、来場者が減少気味であったが、今年度は増加した。【成果指標②】 ○三郷町芸術祭美術展実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年9月6日(木)～9日(日)に第31回三郷町芸術祭美術展を開催し、町内外から198点の作品の出展のもと盛況に開催。来場者数は目標の1,000人に届かなかった。【成果指標③】
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H29年度	H30年度	決算額(円)
	②成果指標	①各団体への補助金 (文化協会・婦人会・子ども会)	会員数	人	1,116	1,149
参加団体数			団体	74	74	H29 1,158,834
②三郷町民文化祭実行委員会		来場者数	人	1,833	2,959	H30 1,309,213
		③三郷町芸術祭美術展実行委員会	来場者数	人	1,063	928

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①生涯学習の事業実施に際し、地域に埋もれている指導者等の人材を掘り起こすシステムづくりが必要である。 ②三郷町地域婦人団体連絡協議会については、会員数を増加し、組織力を強化する必要がある。 ③三郷町には文化活動推進を目的とする補助団体として、公益財団法人三郷町文化振興財団・三郷町文化協会・三郷町芸術祭美術展実行委員会・三郷町民文化祭実行委員会の4団体がある。これまで、それぞれの団体が独自で活動を続けてきた経緯があるが、現状ではどの団体においても会員や入場者数を確保することに苦慮しており、今後活動を連携していく必要がある。 ④三郷町民文化祭の運営に係る人材不足。 <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①三郷町芸術祭美術展の目標来場者数(1,000名)の確保。
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①文化センターで行っている文化教室などと情報交換を行い、地域の人材を把握できる体制を構築。 ②地域婦人団体連絡協議会の会員募集を引き続き広報をはじめ、いろいろなツールを活用して周知する。 ③イベントの共同開催や、他団体の教室や研修会に積極的に参加をし、相互の団体の活性化を図る。 ④町民文化祭は町の一大イベントなので、全庁に協力依頼し、動員をかけることを検討。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①開催期間中の悪天候の影響も考えられるが、より一層の広報活動を行い、出展品数を増やし、来場者数が増加するよう努める。
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p>
	<input type="checkbox"/> 見直し	
<ul style="list-style-type: none"> ・人材の発掘により、様々な学習活動の支援を得るとともに、指導者の育成及び支援を合わせて行う。 ・現在活動をされている団体・個人に対する継続支援。 		

平成30年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑩図書館の充実	担当課名	図書館 (生涯学習課)	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	・住民の生涯学習に対するニーズに応えるため、蔵書・資料の充実を図り、資料収集を継続します。 ・誰もが気軽に利用できる住民の学習、ふれあいと憩いの場とするため、各種館内サービスや行事の充実に努めます。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	○資料・情報の提供 図書、雑誌、新聞をはじめ、CD・DVDなどの音響・映像資料を含む各種の図書館資料を幅広く収集し、子どもから高齢者までそれぞれの年齢層に合った資料を迅速かつ的確に提供する。また、館内のインターネットアクセス端末によりネット情報の提供も行う。 ○子どもの読書の推進 絵本や児童図書の利用の促進（季節やテーマに沿った絵本の面展示・表紙の展示、小中学生向け調べもの学習資料の充実）とともに、乳幼児向け（ブックスタート、ゆりかごおはなし会）、児童生徒各種行事を向け（おはなし会、土曜の午後のおはなし会、夏・冬のつどい、本の森探検隊）などの年齢層に合わせた継続して行うことにより、子どもの読書推進を図る。 ○生涯学習事業の推進 映画上映会や童謡コンサートなど、各種講演会や演奏会を実施して、人々が集い交流する生涯学習の場を提供する。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○平成30年度統計		
		平成29年度	平成30年度
	蔵書冊数	252,400冊	250,874冊
	入館者数	203,440人	195,362人
	貸出人数	92,567人	92,110人
	貸出冊数	281,454冊	280,247冊
	ネット予約人数	6,315人	6,632人
	ネット延長人数	6,481人	6,718人
	HPアクセス数	72,726回	78,438回
	読書通帳(累計)	2,703冊	3,818冊
	○図書館行事		
		概 要	参加人数(人)
			平成29年度 平成30年度
	ブックスタート	11ヶ月健診にあわせて赤ちゃんと保護者を絵本の世界に誘い赤ちゃんの成長の手助けをする	125 125
	ゆりかごおはなし会	0～2歳の幼児と保護者を対象に絵本の読み聞かせ・手遊びなど	76 123
おはなし会	小さい子どもと大きい子ども向けに分けて絵本の読み聞かせやストーリーテリングなど(毎週日曜日)	700 731	
土曜の午後のおはなし会	お話しボランティアによる絵本の読み聞かせや折り紙	155 102	
夏のつどい	ペープサートや人形劇など子ども向けの行事	65 52	
映画上映会	名作映画の上映会	2,455 2,253	
アニメ映画会	子ども向けアニメ映画の上映会	385 328	
本の森探検隊	テーマを設定した本を探しながら、楽しみつつ本に親しむイベント	74 51	
フロアコンサート	図書館の開架室でギターマンドリンコンサート	242 248	
大人のためのストーリーテリング	大人向けにストーリーテリングの面白さを伝えるイベント	24 37	
四国八十八か所講演会	四国霊場を徒歩で回られた方からの体験談の講演会	38 31	
小学生一日図書館員体験	図書館業務を通して、仕事の大切さを知ってもらう	— 6	
本の帯コンテスト	子供たちがお気に入りの本の帯を作成し、展示する	— 14	
野菜作りの裏ワザ講演会	野菜作りに役立つ裏ワザの講演会	— 71	
ギター・コンサート	ギターのグループによる演奏会	38 —	
冬のつどい	ペープサートや人形劇など子ども向けの行事	110 103	
小学生夏休み実験室	小学生を対象とした科学実験教室	18 —	
日本画展	町内在住の画家による日本画の展示会	240 —	
龍田古道写真展	町内在住の写真家による龍田古道の写真展示会	— 508	
ブックリサイクル	除籍済の図書資料を住民に提供	1,017 1,960	
ぬいぐるみととよかんおとまり会	ぬいぐるみと一緒にのおはなし会の後、図書館で遊んでいる姿をアルバムにプレゼント	15 15	
ナースのたまごと健康体操	信貴山看護学校生徒による健康体操及び、健康にまつわるお芝居	12 17	
童謡を歌おう会	皆で童謡を歌える場所を提供する	— 130	
童謡コンサート	武鹿悦子先生作詩の童謡・唱歌の演奏会	179 149	
クリスマスコンサート	町内コーラス団体等による演奏会	54 106	
	計	6,022 7,160	
○土曜、日曜、祝日のイベント 家族での来館を促進するため、土曜、日曜、祝日にイベントを開催する。			
○リクエスト・相互貸借サービス 図書館で所蔵していない図書の申込みに対して、購入もしくは近隣図書館からの貸借を行い、提供している。近隣の図書館と提携することで、既に絶版の本や長編シリーズなど、購入できない図書を迅速に提供する。また、町民が県立図書館情報館で借りた図書を当館のカウンターで、返却できるサービスを実施している。			

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○資料情報の提供 資料購入数は前年度に比べ、219冊(枚)の減少となった。 今後は、話題の図書などに常に注意しながら、可能な限り住民のリクエストなどの要望に応えるよう予算の範囲内で各種資料の内容充実にも努め、入館者数や貸出冊数の増加に繋がるような資料収集を行う。 【成果指標①】</p> <p>○子どもの読書推進 乳幼児向け、児童生徒向けなど年齢層にあわせた各種事業を実施。読み聞かせの内容を精査し、年齢層に合わせたおはなし会を実施したが、参加者数については前年度から減少した。今後は多くの子どもたちに毎週図書館に来てもらえるよう、祝日やクリスマス等のイベント時に追加のおはなし会を開催し、参加者数の増加に努める。【成果指標②】</p> <p>○生涯学習の推進 昨年度に比べ、全体の参加者数は増加。今後も既存のイベント内容の充実を図り、町内ボランティア団体などの協力のもと、童謡関連を中心に、新たなイベントを企画することで、普段図書館を利用しない方の来館を促進し、客層の幅を広げることにより、更なる入館者の増加を図る。【成果指標③】</p>
-------------	---

	事業名	成果指標名	単位	H29年度	H30年度	決算額(円)
②成果指標	①資料情報の提供	図書・雑誌・CD・DVD等購入数	冊(枚)	6,996	6,777	H29 10,736,815
						H30 9,376,098
	②子どもの読書推進	参加者数	人	1,723	1,650	H29 99,846 H30 98,496
	③おとなの読書推進	参加者数	人	4,299	5,510	H29 30,000 H30 60,000

③事業の課題	【継続的な課題】
	<p>【新たな課題】</p> <p>①ネットの普及による入館者数の減少。 ②子どもの来館数の増加。 ③「童謡のまち」のアピール。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	【継続的な課題に対する改善方法及び結果】
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①ネットによる自宅からの予約や貸し出しの延長及びHPによる蔵書検索等が可能となったことから、ネット利用の手軽さが来館回数の減少に繋がり、入館者数に影響を与えている。 県下全体が入館者・貸出冊数が減少傾向にある今日、まずは入館者数の増加に努めるため、参加型のイベントを多く企画し、その関連する図書を提供することで、普段読書に関心のない人も図書館に呼び込み、入館者・貸出冊数の増加を図る。</p> <p>②子どもの入館者数を増やすためには、いかに図書館が楽しい場所であるか、子どもたちに図書館の魅力を伝えるため、小学校や幼稚園と連携して「図書館見学会」や「調べもの学習」を行い、加えて今年度から図書館の仕事を体験できる「小学生一日図書館員体験」や「本の帯コンテスト」などの新規事業を展開。将来の来館者数を増やすためにも、子どもに対する取組みは長期的展望に立った企画が重要であると考えことから、今後も多くの子ども向けイベントを積極的に開催する。</p> <p>③図書館では平成30年度の「童謡のまち宣言」を機に、童謡詩人「武鹿悦子」先生の著作を集めた「武鹿文庫」をリニューアルした。また、地元コーラス団体による童謡コンサートや童謡に関心のある人たちが集い、歌う場所を提供する「童謡を歌おう会」を立ち上げるなど、地域住民と協働することで、住民ひとり一人が関心を持ち、「童謡のまち」が広く浸透するように、イベントの開催や資料の収集・充実を積極的に行う。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input checked="" type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <p>・町民に対して十分な資料や情報を提供できるよう、図書館の基本的業務の履行はもとより、様々な行事を通じて図書館の魅力を最大限にアピールし、「三郷町まちづくり総合戦略」の目標達成を目指す。また、生涯教育の推進を始め、ひとりでも多くの人々が憩いの場として利用できる図書館の環境づくりを積極的に進める。</p> <p>・利用者の意見や要望を真摯に受け止め、利用者一人ひとりが満足できる図書館となるよう、充実した資料の収集や豊かな情報の提供に努める。</p> <p>・小さな子どもから高齢者まで、すべての町民が「生涯利用できる場所」として、年代を問わず誰もが利用しやすい図書館づくりに努める。</p>

平成30年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	①文化財の保護と活用	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県と連携しながら文化財保護に努め、案内看板・説明看板の整備など環境の整備に努めます。 ・民間団体による調査活動を支援するとともに、住民団体と協力して歴史的資料の発掘及び保全・管理をするための調査を進めます。 ・文化財の保全・管理・展示を行う郷土資料室のあり方について検討します。 ・文化財ボランティアの育成に努めながら、地域の歴史にふれる機会の充実に努めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財の保護 <ul style="list-style-type: none"> ・後世に継承すべき文化財の保護保存をしていくため、国・県等の関係機関と連携を図りながら町内の文化財の確認作業及び指定文化財等への保存助成、環境整備を行う。 ○文化財の啓発・活用 <ul style="list-style-type: none"> ・町内の文化財について、広く町内外の方々に周知できるよう企画立案する。 ・文化センター内に設置している「郷土資料室」の有効な活用を図る。 ・龍田古道等の歴史遺産の日本遺産登録。 ○地域の歴史学習の機会の提供等 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の一環として、地域の歴史を学ぶ教室を開催する。また、歴史・文化財に係る地域のグループ等がより充実した活動ができるよう協力・支援する。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財の保護 <ul style="list-style-type: none"> ・現在、町内には国指定重要文化財3件、県指定文化財1件、町指定文化財10件（16点）、国登録文化財1件がある他、未指定の文化財についても文化財台帳にて現況確認を実施。 ・それぞれの文化財の保存及び活用については、その所有者と連携を図り、適切に対応した。 ・遍照院シダレザクラ（町指定）の樹木消毒にかかる維持管理経費の一部助成を実施。 ・奈良県からの委嘱により、定期的に町内文化財の巡視及び適宜適切な保護を実施。 ○文化財の啓発・活用 <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県の文化資源活用補助金を活用し、龍田古道の解説案内板や万葉歌碑の解説板において、QRコードによる多言語翻訳を行う他、万葉歌を音声で聴ける動画用のQRコードを設置した。 ・地域に関する歴史の研究グループ「史学さんごう」との共催で、11月11日（日）に文化講演会「明治維新を考える」（講師：東京大学名誉教授、跡見学園女子大学教授 三谷 博 氏）を開催。 ・町にまつわる万葉歌の啓発グループ「みさと万葉歌プロジェクト」との共催で、3月25日（月）に文化講演会「万葉集の音」（講師：関西大学教授、萬葉学会代表 乾 善彦 氏）を開催。 ・三郷小学校、三郷北小学校児童の文化センター郷土資料室見学に際し、「史学さんごう」及び学校ボランティアの協力のもと児童に農具や古民具について説明した。 ・龍田古道等の日本遺産登録を目指し、柏原市と共同で「歴史と地すべりが創り出す壮観な風景と龍田古道～古代から現代まで苦悩に満ちた龍田越え～」というテーマで申請を行った。 ・萬葉学会との共同開催で、2020年の萬葉学会全国大会を三郷町で開催することが決定する。 ○文化・歴史学習の機会 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の学級のひとつとして「歴史教養講座」を本年度も開講し、身近な歴史等を学ぶ機会を提供。また、三郷町にまつわる万葉歌が多く詠われていることから、万葉歌人の感性や歴史的な背景を学ぶため、「みさと万葉学習会」を開講。 ○埋蔵文化財 <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度の三郷中央公園多目的広場建設の際に、約15,000年前の石器のアトリエ跡である「勢野東遺跡」が発掘されたことに伴い、平成23年度より9カ年計画で、勢野東遺跡発掘調査報告書の作成業務を奈良県に委託している。 ・國學院大学との合同調査で町指定史跡「三室山古墳二号墳・三号墳」の3D測量を行う。 ・帝塚山大学との合同調査で、勢野北垣内地区の瓦窯跡の踏査を行い、3月23日（土）にウォーキング、展示会、講演会を行う。 ・町内の開発行為等に際して、埋蔵文化財包蔵地該当の有無を確認し、該当している場合、奈良県と協議のうえ調査等を実施。
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文化財の保護・啓発・活用 ・指定文化財の維持管理に伴う経費を効率よく助成することができた。 ・また、町内の文化財の定期的な巡視により、文化財の保護を適切に実施。【成果指標①】 ・文化財や万葉歌解説についてQRコードを活用した多言語翻訳を行うことで、インバウンドに対応した解説板を各所に設置することができた。【成果指標②】 ・奈良県に委託している「勢野東発掘調査報告書」の作成が、完了予定であった平成29年度から平成31年度まで延長されたことに伴い、平成30年度は委託契約を締結しなかった。【成果指標③】 ・文化財保護週間に合わせ、教育委員会と住民団体である「史学さんごう」の共催で「史学さんごう文化講演会」を行い、好評を得ている。【成果指標④】 ・教育委員会と住民団体である「みさと万葉プロジェクト」の共催で「みさと万葉文化講演会」を行い、大好評である。【成果指標⑤】 ・大学等の研究機関との合同で学術的な調査を行うことにより、町内の文化財の学術的な価値を向上させることができる。【成果指標⑥】 ○学級の開催 ・「歴史教養講座」は49人、「みさと万葉学習会」は77人の登録があり、1年を通じて歴史文化に親しんだ。
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H29年度	H30年度	決算額(円)
	①指定文化財等の保全	文化財の保全	件	2	1	H29 75,360 H30 77,400
②多言語対応の解説板の設置	歌碑・説明看板の設置	件	0	4	H29 0 H30 699,840	
③勢野東遺跡発掘調査報告書作成業務	調査・製本業務	—	—	—	H29 0 H30 0	
④史学さんごう文化講演会	参加人数	人	180	210	H29 H30	
⑤みさと万葉プロジェクト文化講演会	参加人数	人	180	120	H29 H30	
⑥大学等の研究機関との合同調査	調査件数	件	—	2	H29 H30	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①指定文化財に修理等の必要が生じた場合、所有者の負担に対して国・県・町の各補助制度があるが、現状は所有者の負担が大きくなっている。指定文化財を維持していくには長期間にわたる所有者の理解と協力が必要なことから、所有者の負担を極力軽減する施策の検討が必要である。</p> <p>②国の観光施策の活性化に伴い、奈良県も県下の歴史・文化財を活かした事業を多く打ち出しており、町の業務量も増加している。また、三郷町においても隣接する柏原市と連携し、龍田古道の日本遺産登録を目指していることから、観光事業や開発事業をはじめ、文化財を所有する社寺等と長期的かつ専門的な保存計画を立てるためにも、専門技師の確保が必要である。</p> <p>【新たな課題】</p> <p>①三郷町内の埋蔵文化財包蔵地内で行われる開発行為等の際に行われる確認調査に関して、奈良県内では奈良県立橿原考古学研究所が市町村に代わって実施していた経緯があったが、近年研究所の職員数の減少もあり、全ての案件を奈良県が行うことができなくなっている。それに伴い、各市町村で発掘等の調査を行う必要が出てきており、埋蔵文化財の技師の確保が必要である。</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①文化財の所有者と教育委員会で定期的に意見交換を行い、現状確認を行う。また、所有者負担が過剰にならないよう、国・県に対して補助を要望するとともに、町の補助制度の拡充及び見直しも検討する。</p> <p>②文化財や観光に関わる業務体制の拡充及び長期的に町内の文化財を管理、研究できる専門職員の配置を検討する。</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①継続的な課題の②とも合わせ、埋蔵文化財・各指定及び未指定文化財・観光に関わる専門業務に対応できる専門職員の配置及び体制の整備を検討する。</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input checked="" type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財を観光資源の一つとし、既設案内看板等の補修及び新設を行い、事業の活性化を図る。 ・住民団体を活用し、定期的な文化財の調査から講演会等の啓発イベント等、一貫した協力体制を構築する。 ・国や県、他市町村の関係機関、大学等の研究機関と情報交換を行い、連携強化を図る。 ・専門的な立場と知識を持った職員を確保し、他の関係部局の業務のサポートを含め、三郷町の歴史や文化財の学術的な保存・活用に係る業務を展開する。 ・「龍田古道」等、町内文化資源等の日本遺産登録を目指し、各種事業を展開する。

平成30年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑩生涯スポーツの推進	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 誰でも継続的に気軽楽しめるスポーツの機会を提供するため、指導者やボランティアリーダーの育成に努めます。 健康づくりや交流の場となる軽スポーツの普及に努めます。 青少年のスポーツ活動の振興を図り、そのための環境整備や自主的な活動への支援に努めます。 				

2 事業概要・目的(PPLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツの推進 <ul style="list-style-type: none"> スポーツを通して町民が生涯にわたり心身ともに健康な生活を営むため、三郷町体育協会や三郷町スポーツ少年団及び三郷町スポーツ推進委員などと連携し、スポーツを推進するとともに、身体づくり及び健康づくりを図る。 ○軽スポーツ事業 <ul style="list-style-type: none"> 自分にあったスポーツライフの実現と競技の技量を身につけてもらえるように、各種軽スポーツ大会等を実施する。 ○総合型地域スポーツクラブへの支援 <ul style="list-style-type: none"> 住民の主体的な運営により、すべての世代の住民が楽しめる総合型地域スポーツクラブ「元気☆ひまわりクラブ三郷」が自立して運営できるよう支援を行う。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツの推進 <ul style="list-style-type: none"> ①町民体育祭の開催 <p>地域住民がイベントを通じてスポーツに親しみ、町民の輪を広げることをテーマに、三郷町スポーツ少年団や他の各種団体の協力のもと、三郷町体育協会主催で第48回町民体育祭(於:中央公園多目的広場)を10月7日(日)に開催した。</p> ②野球審判講習会 <p>盛んなスポーツのひとつである野球の試合等の審判及び指導者の育成を行うとともに、ルール等の改正にも逐時対応するため、4月8日(日)に審判講習会を開催した。</p> ③関係団体に補助金の助成 <table border="0"> <tr> <td>【三郷町体育協会】</td> <td>補助金額</td> <td>2,483,927円</td> </tr> <tr> <td>【三郷町スポーツ少年団】</td> <td>補助金額</td> <td>731,107円</td> </tr> </table> ④三郷町スポーツ推進委員 <p>スポーツ振興のため、子ども人権学習支援事業などに出向き、住民に対しスポーツの実技指導等を行った。</p> ⑤軽スポーツ事業 <p>三郷町体育協会主催で9月16日(日)に「軽スポーツフェスティバル」、11月18日(日)に「軽スポーツ大会」を開催し、軽スポーツの普及に取り組んだ。</p> ⑥総合型地域スポーツクラブへの支援 <ul style="list-style-type: none"> ・スポンサーの確保 ・教室開催場所(グラウンド)の優先確保 ・教室の夜間開催 2教室 91回開催 延べ参加者1,013名 ・教室の土曜開催 2教室 44回開催 延べ参加者442名 ・夏休みに、小学生向けにジュニアサッカー教室を8回行い、計74名の参加があった。 <p>また、クラブの主な事業となる各種教室については、未就学児・小学生向けのキッズダンスやジュニアサッカー、ジュニアテニス、一般・シニア世代向けにノルディックウォーキング、太極拳や様々な種類のヨガ教室など、合計30教室を展開。全ての教室における開催回数は延べ1,212回で、参加人数は延べ9,918人。</p> 	【三郷町体育協会】	補助金額	2,483,927円	【三郷町スポーツ少年団】	補助金額	731,107円
【三郷町体育協会】	補助金額	2,483,927円					
【三郷町スポーツ少年団】	補助金額	731,107円					

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○関係団体への補助金による助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「三郷町体育協会」及び「三郷町スポーツ少年団」に運営補助金を助成し、組織の育成及び強化を図った。前年度は体育協会50周年イベントが行われたため、体育協会事業の参加人数が例年より多かったため、減少幅が大きい。【成果指標①②】 <p>○スポーツの推進及び軽スポーツ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三郷町体育協会及び三郷町スポーツ少年団等の協力のもと、町の社会体育の最大イベントである第48回町民体育祭を10月7日(日)に開催した。【成果指標③】 ・三郷町スポーツ推進委員が地域に出向き、軽スポーツ等の振興を図った。 <p>○総合型地域スポーツクラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土曜日・夜間の教室を開催し、会員数の増加を図った。会員数は前年の275人から323人となっており、順調に会員数を伸ばしている。また教室参加人数も大きく増えている。【成果指標④】
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H29年度	H30年度	決算額(円)	
	①三郷町体育協会事業	参加人数	人	2,645	1,899	H29	2,261,997
					H30	2,483,927	
②三郷町スポーツ少年団事業	参加人数	人	305	263	H29	876,575	
					H30	731,107	
③町民体育祭	競技参加人数	人	3,000	3,000	H29	405,719	
					H30	866,839	
④総合型地域スポーツクラブ事業	教室参加人数	人	8,159	9,918	H29		
					H30		

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①総合型地域スポーツクラブは、クラブ運営にスポーツくじ助成金を平成27年度～令和元年度の5年間受けているが、現在、助成金に頼った運営になっていることから、令和2年度以降の運営が困難になる。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①スポーツ少年団の団員数が減少している。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①総合型地域スポーツクラブが平成31年4月1日付で一般社団法人となり、令和2年度から3年間のスポーツくじ助成金を受けることになった。しかしながら、助成金額が従前の半分程度に減額となることから、今後も運営はきびしい。3年後に助成金の交付が完全なくなるまでに自主運営できるよう、教室、会員数の増加に向けて施設の優先利用、施設使用料減免等の対応が必要になる。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①スポーツ少年団の活動を幅広く知ってもらうために、今までの広報による募集に加えて、団員募集のチラシの配付を検討している。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p>
	<input type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブ「元気☆ひまわりクラブ三郷」の新規会員の獲得については、新たな種目の追加をはじめ、健康づくり・介護予防につながる教室の検討や参加費を低く設定した教室等の開催により、クラブ入会に係るPRを積極的に実施。 ・体育協会加入者やスポーツ少年団指導者等に対し、その経験を活かしたボランティアバンクへの登録を斡旋する。

平成30年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑬スポーツ施設の整備	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの人が気軽に生涯スポーツを楽しめるよう、現有施設の有効利用を図り、誰もが利用しやすい施設改善を図ります。 ・自主的・主体的な総合型地域スポーツクラブの運営を支援をします。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の整備・充実を図るとともに、生涯スポーツと競技スポーツを連携し、運動能力向上の拡充に努めることを目的に、地域スポーツの振興と拡大及び社会体育を推進する。 ○指定管理制度の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・民間の経営や事業展開のノウハウを活用し、より充実したスポーツ施設の管理運営を行うため、スポーツセンター及びウォーターパークを合わせて指定管理により運営する。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・経年による各施設の維持修繕が必要になっていることから、随時、修繕及び改修を行い、施設利用に支障のないよう安全安心な施設運用を行った。 ①竜田運動公園 <ul style="list-style-type: none"> 利用種目：成人及び学童軟式野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、サッカー、テニス等 施設整備：テニスコート砂補充、真砂土の入替え、トレーラー修繕、フェンス修繕、側溝浚渫 野球ベース・防砂ネット設置 (決算額：1,939,614円) ②勢野グラウンド <ul style="list-style-type: none"> 利用種目：学童軟式野球、女子ソフトボール、少女ソフトボール 施設整備：真砂土の入替え、門扉設置、トイレ立水栓取替 (決算額：961,416円) ③スポーツセンター <ul style="list-style-type: none"> 利用種目：卓球、軽スポーツ、少林寺拳法、健康体操、バレーボール等 施設整備：換気扇改修、アリーナ天井鉄骨補修、サブアリーナトップライト補修 (決算額：4,802,760円) ④ウォーターパーク <ul style="list-style-type: none"> 施設整備：鉄扉改修、デリバント改修 (決算額：2,492,629円) ⑤中央公園多目的広場 <ul style="list-style-type: none"> 利用種目：成人及び学童軟式野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、サッカー等 施設整備：グラウンドの凍結防止工事、散水用ポンプ修繕、防球ネット設置 (決算額：2,162,981円) ○指定管理制度の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・民間のノウハウを活かし、効率的かつ効果的な施設運営を行うため、平成30年度から5年間スポーツセンター及びウォーターパークを合わせて(株)翔成へ指定管理業務を委託。 (指定管理料 平成30年度から平成34年度まで合計112,417,000円)
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・修繕や施設改修を行い、安全で安心な施設運営を図った。 ○スポーツ施設の運用 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の体力の維持・増進や健康で明るい生活の充実、また、利用者同士の親睦に寄与した。 <p>なお、利用者数については、中学校校舎建替に伴う部活動の利用により、健民グラウンド、テニスコート及びスポーツセンター等において大幅に増加した。【成果指標①～⑥】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指定管理制度の導入 <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度以降、ウォーターパーク及びスポーツセンターを合わせて指定管理とし、民間のノウハウを活かして、効率的・効果的な施設運営と経費の削減を図れている。なお、現行の指定管理業務委託は、平成25年度から平成29年度までの5年間。(平成30年度から平成34年度までの5年間の指定管理も引き続き継続に決定。5年契約で合計112,417,000円。)
-------------	---

	施設名	成果指標名	単位	H29年度	H30年度	決算額(円)
	②成果指標	①健民グラウンド	利用者数	人	56,923	58,105
	②テニスコート	利用者数	人	13,277	11,010	H29 H30
	③中央公園多目的広場	利用者数	人	38,492	45,360	H29 H30
	④勢野グラウンド	利用者数	人	5,246	5,326	H29 H30
	⑤スポーツセンター	利用者数	人	108,764	99,308	H29 H30
	⑥ウォーターパーク	利用者数	人	66,285	58,722	H29 H30

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①施設の維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ・各施設の経年劣化により、不具合や故障が頻繁に発生し維持管理が困難になっているため、計画的な施設改修等が必要である。 ②グラウンドについては、近隣住民より砂塵の苦情が発生している。 <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①総合型地域スポーツクラブの自主運営には、教室数、会員数を増加させる必要があるが、新教室を開講する場所がない。
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①施設改修等については、財政状況を勘案し、緊急性の高いものから計画的に改修等を行う。今後は令和2年度に長寿命化計画を策定し、それに基づき修繕を行っていく。 ②砂塵については、平成30年度に竜田運動公園に防砂ネットを設置したことにより、一定の効果があつた。今後も近隣の住宅に迷惑がかからないように配慮していく。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①総合型地域スポーツクラブの自主運営に向けて、新中学校の体育館・武道場の学校施設開放の優先利用を行う。その他、各施設の空いている場所・時間を有効活用していく。
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p>
	<input type="checkbox"/> 見直し	
<p>・住民が望む生涯スポーツを推進するため、国・県等から補助金等の財政的支援をリサーチするとともに、現体育施設の適正な維持管理及び利用者が快適かつ安全に利用できるよう施設整備を行い、利用者増につなげる。</p>		

IV 学識経験者の知見の活用

1. 点検評価有識者：奈良学園大学 副学長 金山 憲正

平成30年度実施分の点検・評価を行うにあたり、客観性を確保するため、学識経験者に点検評価を依頼し、今年度の報告書の総括と次年度以降に改善すべき課題として、以下の指導及び助言を受けた。

2. 指導・助言の内容

- 教育に関する施策及び事業についての点検・評価が全般にわたり計画的にかつ適切に執行されている。
- 「三郷町教育大綱」の基本目標となる「子育てなら三郷町」「教育なら三郷町」「住み続けるなら三郷町」の3つの柱のもとに設定した各項目について適切な基本施策が講じられていると共に、それぞれの施策に対しPDCAサイクルに沿って充実した改善活動が実施されている。
また、「改善方法・結果」を受け、「今後の計画・方向性」が具体的に示されているため、次年度の「事業概要・目的」が明確になっており、より充実した施策として展開されることが期待できる点検・評価が行われている。
- 「点検・評価項目」間における事業内容相互の関連を図っていくことにより、さらに充実した施策の実施につなげられることが期待できる。
例えば、「②教職員研修の充実」においては3人の新任教員に対して計画的な初任者研修がなされているので、「④特別支援教育の推進」においての事業実績として配置した17人の常勤講師に対する研修を周辺自治体と共同で計画することなども必要であろう。
- 「⑤の情報・国際教育の推進」の項目で情報教育に関してはICT教育環境整備のための取組が着実になされている。一方、国際教育に関してはALTの派遣に重点を置いた取組は文部科学省が国際教育を「国際社会において、地球的視野に立って主体的に行動するために必要と考えられる態度・能力の基礎を育成するための教育」と明示していることと比して、一部の内容にのみ焦点が当てられているように思える感がある。次年度の事業内容計画の際に国際教育をあと少し広義にとらえて検討がなされると事業内容がより充実したものになると思われる。
- 今後も学校施設の整備及び情報教育の推進の項目においてICT教育環境整備関連に多額の経費を投入することが予想されるが、国の動向に絶えず注意を払い、先を見据えた計画立案が益々重要になると思われる。
例えば、国は2022年度中の整備完了を目指して現在整備が進んでいる、通信速度が毎秒100メガビットの100倍にあたる10ギガビットの超高速通信網を全小中高に整備し、インターネットを通じた遠隔教育を本格運用させる計画をつい先日発表した。今後、超高速通信網が整備されてくると、各学校側の無線LANやケーブルなどの通信環境も底上げする必要に迫られるため、限られた予算を有効に活用するためには数年先を見越した整備計画の策定が求められるであろう。

令和元年8月19日

金山 憲正

